

5

BIOS セットアップについて

本章では、BIOS セットアッププログラムの使いかたと機能について説明します。BIOS セットアッププログラムを使って、パソコン本体のシステム構成の設定や、パスワードの登録／削除などができます。

1	BIOS セットアップとは.....	132
2	BIOS を工場出荷時設定に戻すには	137
3	Standard CMOS Features の詳細.....	138
4	Advanced BIOS Features の詳細	141
5	Advanced Chipset Features の詳細 ...	144
6	Integrated Peripherals の詳細.....	146
7	Power Management Setup の詳細....	151
8	PnP/PCI Configurations の詳細	156
9	PC Health Status の詳細.....	157
10	Frequency/Voltage Control の詳細	159
11	Password の設定	161
12	工場出荷時の設定値／既定値	163

① BIOS セットアップとは

BIOS セットアップとは、パスワードやハードディスク、周辺機器の使いかたなどを本体に設定するプログラムのことです。

BIOS セットアップで設定された情報は、CMOS-RAM と呼ばれる特殊なメモリに保存され、電源を切っても設定した内容が消失しないように内蔵バッテリーで保持されます。メモリの増設やハードディスクドライブの増設等の変更をしない限り、1 度 BIOS セットアップを行えば以降は必要ありません。ただし、内蔵バッテリーが消耗すると BIOS セットアップは既定値に戻りますので、設定した内容はメモをとるなどして忘れないようにしてください。



メモ

・ BIOS セットアップ画面は英語表示のみです。日本語での、項目／説明の表示はありません。

① BIOS セットアップの起動方法

1 電源を入れた直後（起動時）に **Delete** キーを押す

起動時に、次の「TOSHIBA」画面が表示されます。目安として、この画面表示中に **Delete** キーを押します。



お願い

・ **Delete** キーの入力が受け付けられるのは、パソコンの電源を入れてから数秒間です。この時間内に **Delete** キーを押さないと、システムが起動します。

BIOS セットアップが起動できなかった場合は、通常の終了操作を行なってパソコン本体の電源を切り、上記の手順 1 をやり直してください。



TOSHIBA

Press [Tab] to POST screen, [Del] to enter SETUP

② BIOS セットアップの操作方法

● BIOS セットアップ画面について



● 使用するキーについて

BIOS セットアップでは、マウスが使用できないため、キーボード上のキーで、メニューや項目の移動、値の入力などを行います。
ここでは、BIOS セットアップで主に使用するキーについて説明します。

● [↑] キー

1 つ前の項目に移動します。

● [↓] キー

1 つ先の項目に移動します。

● [←] キー

左のメニューに移動します。

● [→] キー

右のメニューに移動します。

● [Enter] キー

メニューで選択したサブメニューを表示します。

● [PageUp]、[-] キー

項目の選択値を 1 つ前の値に変更します。

● **PageDown**、**+**キー

項目の選択値を1つ後の値に変更します。

● **F10**キー

メインメニューで現在の設定を保存し（CMOS-RAMに書き込み）、BIOS セットアップを終了して、システムを起動します。

F10キーを押すと「SAVE to CMOS and EXIT (Y/N)?Y」というメッセージが表示されます。設定を保存して終了する場合は**Y**キーを、保存しないでセットアップを続ける場合は**N**キーを押します。

● **Esc** キー

メインメニューでは、設定を保存せずに終了する画面が表示されます。サブメニューでは、メインメニューに戻ります。

Escキーを押すと「Quit Without Saving (Y/N)?N」というメッセージが表示されます。設定を保存せずに終了する場合は**Y**キーを押してから**Enter**キーを、セットアップを続ける場合は**Esc**キーを押します。

● **F1** キー

サブメニュー画面でBIOS セットアップの説明と操作方法（[General Help]）を表示します。

[General Help] を閉じるには、**Esc**キーを押します。

● **F5** キー

最後に保存された設定値に戻します。設定を元に戻す場合は**Y**キーを押してから**Enter**キーを、戻さないでセットアップを続ける場合は**Esc**キーを押します。

● **F6** キー

表示しているメニューのBIOS セットアップのトラブル対応用の既定値を呼び出します。システムが正常に動かなくなってしまった場合のみ使用します。

● **F7** キー

表示しているメニューのBIOS セットアップの内容を既定値にします。既定値を呼び出す場合は**Y**キーを押してから**Enter**キーを、呼び出さないでセットアップを続ける場合は**Esc**キーを押します。



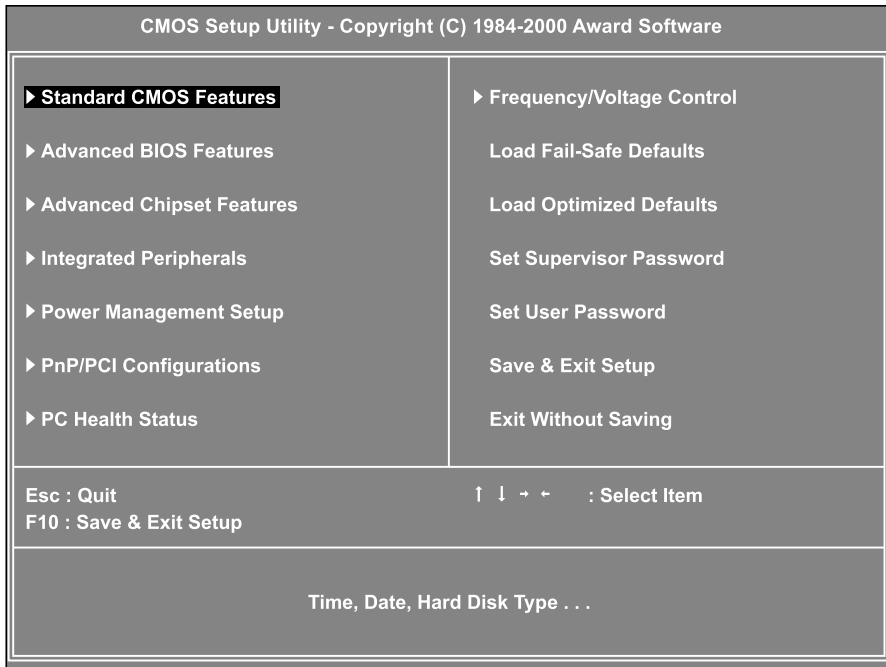
お願い

・工場出荷時の設定は、既定値と異なります。工場出荷時の状態に戻す場合は、1度**F7**キーで既定値に戻し、工場出荷時の設定値に変更してから保存してください。

☞ 詳細について ⇨ 「本章 12 工場出荷時の設定値/既定値」

3 BIOS セットアップの内容

メインメニューは次のような画面です。



BIOS セットアップには次のサブメニューがあります。

- **Standard CMOS Features**
日付や時間などを設定します。
- **Advanced BIOS Features**
起動するドライブや、ディスプレイの表示などを設定します。
- **Advanced Chipset Features**
チップセットの設定をします。
- **Integrated Peripherals**
周辺機器の設定をします。
- **Power Management Setup**
省電力などの設定をします。
- **PnP/PCI Configurations**
プラグアンドプレイの設定をします。
- **PC Health Status**
本装置の動作状態を表示します。
- **Frequency/Voltage Control**
CPU やメモリクロックを設定します。
- **Load Fail-Safe Defaults**
設定を BIOS の既定値（トラブル対応用）に戻します。
システムが正常に動かなくなってしまった場合のみ使用します。

● Load Optimized Defaults

BIOS セットアップの内容を既定値に戻します。



お願い

・工場出荷時の設定は、既定値と異なります。工場出荷時の状態に戻す場合は、[Load Optimized Defaults] メニューで既定値に戻し、工場出荷時の設定値に変更してから保存してください。

☞ 詳細について ⇨ 「本章 12 工場出荷時の設定値/既定値」

● Set Supervisor Password

スーパーバイザパスワードの設定・変更をします。

● Set User Password

ユーザパスワードの設定・変更をします。

● Save & Exit Setup

設定した内容を CMOS に保存し、セットアップを終了します。

● Exit Without Saving

CMOS の内容を変更せずにセットアップを終了します。

なお、BIOS セットアップの内容は出荷時期により多少異なる場合があります。

2

BIOS を工場出荷時設定に戻すには

- 1 BIOS セットアップを起動する**
☞ BIOS セットアップの起動方法 ⇨ 「本章 1-1 BIOS セットアップの起動方法」
- 2 メインメニューより「Load Optimized Defaults」を選択し、**[Enter]**キーを押す**
「Load Optimized Defaults (Y/N) ? N」というメッセージが表示されます。
- 3 **[Y]**キーを押す**
設定値に戻さずセットアップを続ける場合は、**[N]**キーを押します。
- 4 **[Enter]**キーを押す**
- 5 各項目を工場出荷時の設定にする**
☞ 工場出荷時の設定値 ⇨ 「本章 12 工場出荷時の設定値／既定値」
- 6 **[F10]**キーを押す**
「SAVE to CMOS and EXIT (Y/N) ? Y」のメッセージが表示されます。
- 7 **[Y]**が選択されていることを確認し、**[Enter]**キーを押す**
変更した設定を保存して終了します。

日時の設定、フロッピーディスクドライブ、ハードディスクドライブの設定などを行います。

CMOS Setup Utility - Copyright (C) 1984-2000 Award Software Standard CMOS Features		Item Help
MR825 BIOS Ver : X.XX.XX		
Date (mm : dd : yy)	Sat, May 19 2001	Menu Level ▶ Change the day , month , year and century
Time (hh : mm : ss)	15 : 57 : 47	
▶ IDE Primary Master	XXXXXX	
▶ IDE Primary Slave	None	
▶ IDE Secondary Master	XXXXXX	
▶ IDE Secondary Slave	None	
DriveA	1.44M, 3.5 in.	
DriveB	None	
Video	EGA/VGA	
Halt On	All, But Keyboard	
Base Memory	XXXXK	
Extended Memory	XXXXXXK	
Total Memory	XXXXXXK	
↑↓←→ : Move Enter : Select +/-/PU/PD : Value F10 : Save ESC : Exit F1 : General Help F5 : Previous Values F6 : Fail-Safe Defaults F7 : Optimized Defaults		

(表示例)

Date (mm/dd/yy)

年（西暦）月日を設定します。

[月/日/年] の項目移動には、 キーまたは キーを使います。

Time (hh/mm/ss)

時刻（24 時間単位）を設定します。

[時：分：秒] の項目移動には、 キーまたは キーを使います。

IDE Primary Master | IDE Primary Slave

IDE Secondary Master | IDE Secondary Slave

IDE インタフェース上のドライブを設定します。

- ・ IDE Primary Master メインボード上の第 1 (Primary) IDE インタフェースのマスタ (Master)
- ・ IDE Primary Slave メインボード上の第 1 (Primary) IDE インタフェースのスレーブ (Slave)
- ・ IDE Secondary Master .. メインボード上の第 2 (Secondary) IDE インタフェースのマスタ (Master)
- ・ IDE Secondary Slave ... メインボード上の第 2 (Secondary) IDE インタフェースのスレーブ (Slave)

本装置は、標準状態でハードディスクドライブが [IDE Primary Master] に、CD-ROM ドライブまたは CD-R/RW ドライブが [IDE Secondary Master] に設定されています。

[Enter] キーを押すと、次の項目が表示されます。

▼ IDE Primary Master, IDE Primary Slave, IDE Secondary Master, IDE Secondary Slave

IDE 装置のタイプを設定します。

- ・ None..... 使用しない
- ・ Auto 自動設定
- ・ Manual HDD のパラメータを設定することができます。



お願い

・ [Auto] 以外の設定に変更するとドライブを認識できなくなることがあります。通常は変更しないでください。

▼ Access Mode

アクセスモードを設定します。

- ・ CHS
- ・ LBA
- ・ Large
- ・ Auto

Drive A | Drive B

フロッピーディスクドライブ A、B のタイプを設定します。

本装置は標準で、ドライブ A に [1.44/1.25MB 3.5in] タイプのフロッピーディスクドライブを搭載しています。

- ・ None..... なし
- ・ 360K ,5.25in 5 型 360KB フロッピーディスク
- ・ 1.2M ,5.25in 5 型 1.2MB フロッピーディスク
- ・ 720K ,3.5in 3.5 型 720KB フロッピーディスク
- ・ 1.44M,3.5in 3.5 型 1.44MB フロッピーディスク
- ・ 2.88M,3.5in 3.5 型 2.88MB フロッピーディスク

Video

ディスプレイモニタの種類とディスプレイアダプタを指定します。

- ・ EGA/VGA
- ・ CGA 40
- ・ CGA 80
- ・ MONO

Halt On

起動時にエラー検出する周辺機器などを設定します。

- ・ All Errors すべてのエラーを検出する
- ・ No Errors 一切エラー検出しない
- ・ All,But Keyboard キーボードエラー以外のすべてのエラーを検出する
- ・ All,But Diskette フロッピーディスクドライブエラー以外のすべてのエラーを検出する
- ・ All,But Disk/Key キーボードエラー、フロッピーディスクドライブエラー以外すべてのエラーを検出する

Base Memory

システムメモリ量を表示します。(表示のみ)

Extended Memory

拡張メモリ量を表示します。(表示のみ)

Total Memory

システムの総メモリ量を表示します。(表示のみ)

起動するドライブの順番や周辺装置についての設定を行います。

CMOS Setup Utility - Copyright (C) 1984-2000 Award Software Advanced BIOS Features		
	Disabled	Item Help
Virus Warning	Disabled	Menu Level ▶ Allows you to choose the VIRUS warning feature for IDE Hard Disk boot sector protection. If this function is enabled and someone attempt to write data into this area, BIOS will show a warning message on screen and alarm beep
CPU Internal Cache	Enabled	
External Cache	Enabled	
CPU L2 Cache ECC Checking	Enabled	
Processor Number Feature	Disabled	
First Boot Device	Floppy	
Second Boot Device	CDROM	
Third Boot Device	HDD-0	
Boot Other Device	Enabled	
Swap Floppy Drive	Disabled	
Boot Up Floppy Seek	Disabled	
Boot Up NumLock Status	On	
Security Option	System	
↑↓←→: Move Enter: Select +/-/PU/PD: Value F10: Save ESC: Exit F1: General Help F5: Previous Values F6: Fail-Safe Defaults F7: Optimized Defaults		

(表示例)

Virus Warning

ハードディスクのブートセクタを書き換えるプログラムやウィルスを発見した場合に警告メッセージを表示するかどうかを設定します。

- Enabled メッセージを表示する
- Disabled メッセージを表示しない

CPU Internal Cache

CPUの1次キャッシュを有効にするかどうかを設定します。

- Disabled 無効にする
- Enabled 有効にする

External Cache

2次キャッシュを有効にするかどうかの設定をします。

- Disabled 無効にする
- Enabled 有効にする

CPU L2 Cache ECC Checking

2次キャッシュのエラーチェックを行うかどうかの設定をします。

- Enabled ECCを使用する
- Disabled ECCを使用しない

Processor Number Feature

プロセッサシリアルナンバーを有効にするかどうかを設定をします。

- ・ Enabled 有効にする
- ・ Disabled 無効にする

First Boot Device | Second Boot Device | Third Boot Device

起動するドライブの順番を指定できます。CD-R/RW ドライブから起動する場合は、[CDROM] に設定します。

- ・ Floppy
- ・ LS120
- ・ HDD-0
- ・ SCSI
- ・ CDROM
- ・ HDD-1
- ・ HDD-2
- ・ HDD-3
- ・ ZIP100
- ・ USB-FDD
- ・ USB-ZIP
- ・ LAN
- ・ Disabled

Boot Other Device

その他のドライブから起動するかどうかを設定します。

- ・ Disabled 起動しない
- ・ Enabled 起動する

Swap Floppy Drive

フロッピーディスクドライブが2つある場合、B ドライブからの起動ができるかどうかを設定します。

- ・ Disabled 起動不可
- ・ Enabled 起動可能

Boot Up Floppy Seek

起動時にフロッピーディスクドライブの有無をチェックするかどうかの設定をします。

- ・ Disabled チェックしない
- ・ Enabled チェックする

Boot Up NumLock Status

パソコン本体が起動する際にキーボードのテンキーが使用できる状態（NumLock 状態）にするかどうかを設定します。

- ・ Off NumLock 状態にしない
- ・ On NumLock 状態にする

Security Option

起動時にパスワードの入力画面を表示するかどうかの設定をします。

[Set Supervisor Password] または [Set User Password] でパスワードが設定されている場合のみ有効です。

- ・ Setup BIOS セットアップを起動するたびにパスワード入力画面を表示する
- ・ System パソコンを起動するたびにパスワード入力画面を表示する

周辺機器や本装置のチップセットの設定を行います。

CMOS Setup Utility - Copyright (C) 1984-2000 Award Software		Advanced Chipset Features	
SDRAM CAS Latency Time	3	Item Help	
SDRAM Cycle Time Tras/Trc	7/9	Menu Level ▶	
SDRAM RAS-to-CAS Delay	3		
SDRAM RAS Precharge Time	3		
System BIOS Cacheable	Disabled		
Video BIOS Cacheable	Disabled		
Memory Hole At 15M-16M	Disabled		
CPU Latency Timer	Enabled		
Delayed Transaction	Enabled		
On-Chip Video Window Size	64MB		
AGP Graphics Aperture Size	64MB		
System Memory Frequency	Auto		
↑↓→← : Move Enter : Select +/-/PU/PD : Value F10 : Save ESC : Exit F1 : General Help			
F5 : Previous Values F6 : Fail-Safe Defaults F7 : Optimized Defaults			

(表示例)

SDRAM CAS Latency Time

メインメモリの CAS Latency を設定します。設定単位はクロックです。

- ・2
- ・3

SDRAM Cycle Time Tras/Trc

メインメモリのサイクルタイム (Tras、Trc) を設定します。設定単位はクロックです。

- ・5/7
- ・7/9

SDRAM RAS-to-CAS Delay

RAS 信号から CAS 信号を出力するときの遅延時間を設定します。設定単位はクロックです。

- ・3
- ・2

SDRAM RAS Precharge Time

メインメモリのプリチャージ時間を設定します。設定単位はクロックです。

- ・3
- ・2

System BIOS Cacheable

システム BIOS の内容を、2 次キャッシュへ読み込むことを許可または禁止します。

- ・ Disabled 禁止
- ・ Enabled 許可

Video BIOS Cacheable

VIDEO BIOS の内容を、2 次キャッシュへ読み込むことを許可または禁止します。

- ・ Disabled 禁止
- ・ Enabled 許可

Memory Hole At 15M-16M

15M ~ 16M のメモリ空間をオプションカード用に割り当てるかどうかを設定します。

- ・ Disabled 割り当てない
- ・ Enabled 割り当てる

CPU Latency Timer

CPU Latency Timer を使用するかどうかを設定します。

- ・ Disabled 使用する
- ・ Enabled 使用しない

Delayed Transaction

ディレイドトランザクションの設定を行うかどうかを設定します。

- ・ Disabled 行わない
- ・ Enabled 行う

On-Chip Video Window Size

ディスプレイメモリの容量を指定します。この設定は、メインボード上のビデオチップ用です。

- ・ 64MB
- ・ 32MB
- ・ Disabled

AGP Graphics Aperture Size

AGP のアパーチャサイズを指定します。

- ・ 64MB
- ・ 32MB

System Memory Frequency

メインメモリで使用する DIMM の周波数を指定します。

- ・ 100MHz
- ・ 133MHz
- ・ Auto

6

Integrated Peripheralsの詳細

パソコンが起動する際の設定を行います。

画面上部

CMOS Setup Utility - Copyright (C) 1984-2000 Award Software
Integrated Peripherals

On-Chip Primary PCI IDE	Enabled	↑ ↓	Item Help
On-Chip Secondary PCI IDE	Enabled		Menu Level ▶
IDE Primary Master PIO	Auto		
IDE Primary Slave PIO	Auto		
IDE Secondary Master PIO	Auto		
IDE Secondary Slave PIO	Auto		
IDE Primary Master UDMA	Auto		
IDE Primary Slave UDMA	Auto		
IDE Secondary Master UDMA	Auto		
IDE Secondary Slave UDMA	Auto		
USB Controller	Rear		
USB Keyboard Support	Disabled		
USB Mouse Support	Disabled		
Init Display First	PCI Slot		
AC97 Audio	Enabled		
AC97 Modem	Disabled		
IDE HDD Block Mode	Enabled		
Onboard Lan Boot ROM	Enabled		
Alert On LAN	Disabled		

↑↓←→ : Move Enter : Select +/-/PU/PD : Value F10 : Save ESC : Exit F1 : General Help
F5 : Previous Values F6 : Fail-Safe Defaults F7 : Optimized Defaults

(表示例)

画面下部

CMOS Setup Utility - Copyright (C) 1984-2000 Award Software
Integrated Peripherals

AC97 Modem	Disabled	↑ ↓	Item Help
IDE HDD Block Mode	Enabled		Menu Level ▶
Onboard Lan Boot ROM	Enabled		
Alert On LAN	Disabled		
Onboard FDC Controller	Enabled		
Onboard Serial Port 1	3F8/IRQ4		
Onboard Serial Port 2	Disabled		
× UART Mode Select	Normal		
× RxD , TxD Active	Hi , Lo		
× IR Transmission Delay	Enabled		
× UR2 Duplex Mode	Half		
× Use IR Pins	IR-Rx2Tx2		
Onboard Parallel Port	378/IRQ7		
Parallel Port Mode	ECP		
× EPP Mode Select	EPP1.7		
ECP Mode Use DMA	3		
Game Port Address	201		
Midi Port Address	330		
Midi Port IRQ	10		

↑↓←→ : Move Enter : Select +/-/PU/PD : Value F10 : Save ESC : Exit F1 : General Help
F5 : Previous Values F6 : Fail-Safe Defaults F7 : Optimized Defaults

(表示例)

On-Chip Primary PCI IDE | On-Chip Secondary PCI IDE

それぞれの PCI ローカルバスの IDE コントローラを有効にするかどうかを設定します。

- ・ Disabled 無効にする
- ・ Enabled 有効にする

▼ IDE Primary Master PIO, IDE Primary Slave PIO

[On-Chip Primary PCI IDE] が [Enabled] に設定されている場合、PIO のモードを設定できます。

- ・ Auto 自動的に割り当てる
- ・ Mode 0 ~ Mode 4

▼ IDE Secondary Master PIO, IDE Secondary Slave PIO

[On-Chip Secondary PCI IDE] が [Enabled] に設定されている場合、PIO のモードを設定できます。

- ・ Auto 自動的に割り当てる
- ・ Mode 0 ~ Mode 4

▼ IDE Primary Master UDMA, IDE Primary Slave UDMA

[On-Chip Primary PCI IDE] が [Enabled] に設定されている場合、UDMA を有効にするかどうかを設定します。

- ・ Disabled 無効にする
- ・ Auto 有効にし、自動的に割り当てる

▼ IDE Secondary Master UDMA, IDE Secondary Slave UDMA

[On-Chip Secondary PCI IDE] が [Enabled] に設定されている場合、UDMA を有効にするかどうかを設定します。

- ・ Disabled 無効にする
- ・ Auto 有効にし、自動的に割り当てる

USB Controller

有効な USB コネクタを指定します。

- ・ Rear
- ・ Front
- ・ All
- ・ Disable

USB Keyboard Support | USB Mouse Support

USB キーボードおよび USB マウスを有効にするかどうかを設定します。

- ・ Disabled 無効にする
- ・ Enabled 有効にする

Init Display First

起動画面を表示するグラフィックカードを選択します。

- ・ PCI Slot
- ・ Onboard/AGP

AC97 Audio

メインボードのオーディオコントローラを使用するかどうかの設定をします。

- ・ Enabled 使用する
- ・ Disabled 使用しない

AC97 Modem

メインボードのモデムコントローラを使用するかどうかの設定をします。

- ・ Enabled 使用する
- ・ Disabled 使用しない

IDE HDD Block Mode

IDE インターフェース上のドライブがブロックモードをサポートするかどうかを設定します。

- ・ Disabled サポートしない
- ・ Enabled サポートする

Onboard Lan Boot ROM

内蔵 LAN のブート ROM を使用するかどうかを設定します。

- ・ Enabled 使用する
- ・ Disabled 使用しない

Alert On LAN

Alert On LAN 機能を有効にするかどうかの設定をします。

- ・ Enabled 有効にする
- ・ Disabled 無効にする



お願い

- ・ 本装置はこの機能をサポートしていないので、常に [Disabled] の設定でご使用ください。
- ・ 工場出荷時には、[Disabled] に設定されています。[F7]キーを押す、または [Load Optimized Defaults] メニューで既定値に戻した場合、[Enabled] に設定されますので、[Disabled] に設定し直してください。

Onboard FDC Controller

メインボードのフロッピードライブコントローラを使用するかどうかを設定します。

- ・ Disabled 使用しない
- ・ Enabled 使用する

Onboard Serial Port1 | Onboard Serial Port2

メインボードのシリアルポートを使用可能にし、ベースアドレスを指定します。

- ・ Disabled 使用しない
- ・ 3F8/IRQ4
- ・ 2F8/IRQ3
- ・ 3E8/IRQ4
- ・ 2E8/IRQ3
- ・ Auto

Onboard Parallel Port

メインボードの平行ポートを使用可能にし、ベースアドレスを指定します。

- ・ Disabled 使用しない
- ・ 378/IRQ7
- ・ 278/IRQ5
- ・ 3BC/IRQ7

Parallel Port Mode

平行ポートのモードを設定します。

- ・ SPP
- ・ EPP
- ・ ECP
- ・ ECP+EPP

ECP Mode Use DMA

平行ポートのDMAチャンネルを設定します。

- ・ 1
- ・ 3

Game Port Address

メインボードのゲームポートを使用可能にし、ベースアドレスを指定します。

- ・ Disabled 使用しない
- ・ 201
- ・ 209

Midi Port Address

メインボードのMIDIポートを使用可能にし、ベースアドレスを指定します。

- ・ Disabled 使用しない
- ・ 330
- ・ 300
- ・ 290

▼ Midi Port IRQ

[Midi Port Address] でベースアドレスを指定したときに、MIDI ポートの IRQ を設定できます。

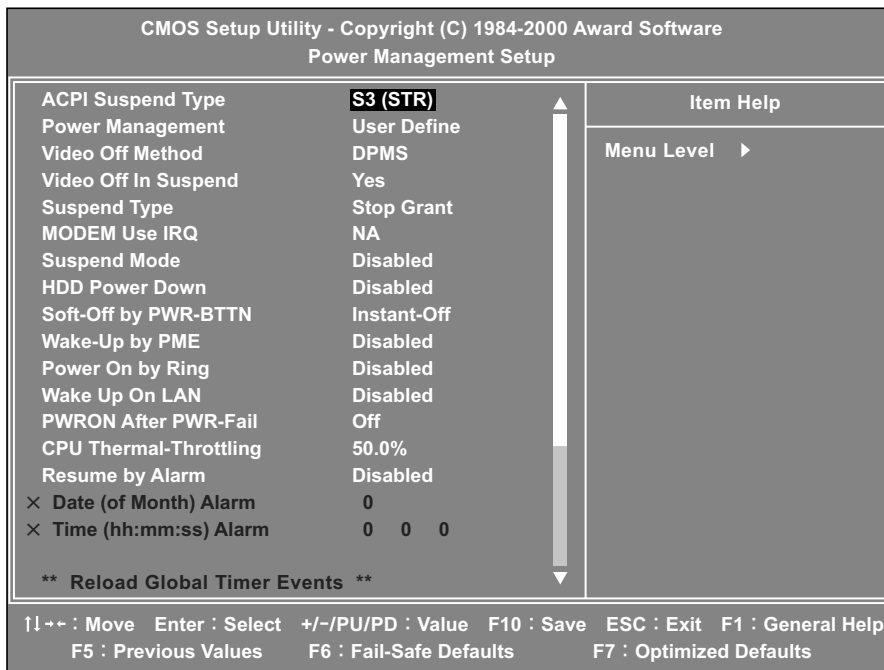
- ・5
- ・10

7

Power Management Setupの詳細

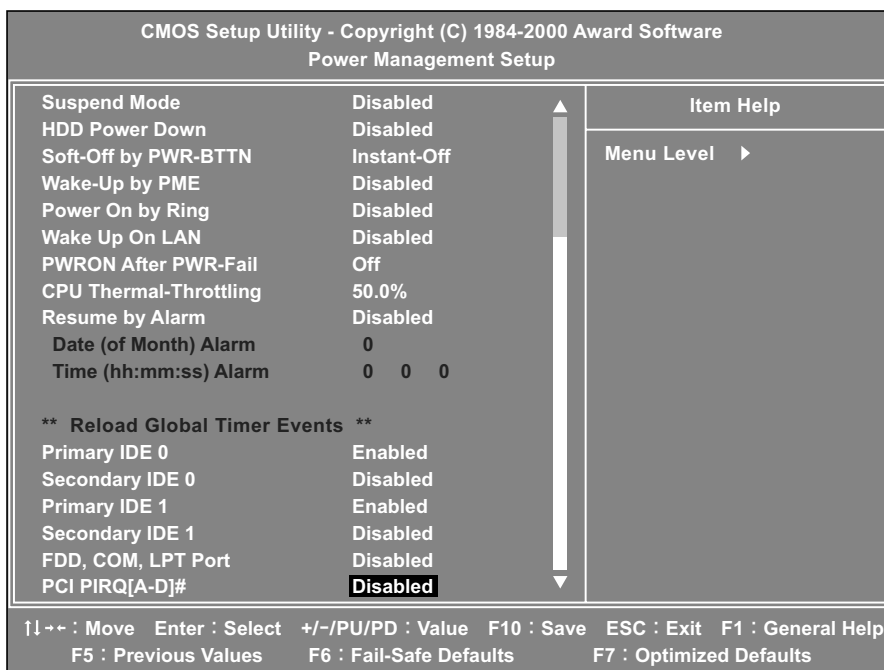
パソコン本体やディスプレイの省電力機能について設定を行います。

画面上部



(表示例)

画面下部



(表示例)

ACPI Suspend Type

使用する省電力モードの種類を設定します。

- ・ S1 (POS)
- ・ S3 (STR)



メモ

・ 増設するオプションカードやUSB 対応機器によっては、正常にスタンバイ状態に移行しない、またはスタンバイ状態から通常モードへ復帰しない場合があります。動作に問題が生じる場合は、[S1 (POS)] に設定してください。

Power Management

パソコン本体の省電力モードのレベルを設定します。

- ・ User Define 省電力モードの設定を任意に設定する
- ・ Min Saving 省電力モードを最小限使用する
- ・ Max Saving 省電力モードを最大限使用する

Video Off Method

ディスプレイの省電力機能を設定します。

- ・ Blank Screen
- ・ DPMS
- ・ V/H SYNC+Blank

Video Off In Suspend

サスペンド中、ディスプレイ表示をオフにするかどうかを設定します。

- ・ No サスペンド中オフにしない
- ・ Yes サスペンド中オフにする

Suspend Type

サスペンドタイプを設定します。

- ・ Stop Grant
- ・ PwrOn Suspend

Modem Use IRQ

モデムが使用する IRQ と同じ IRQ を選択します。

- ・ NA
- ・ 3
- ・ 4
- ・ 5
- ・ 7
- ・ 9
- ・ 10
- ・ 11

Suspend Mode

サスペンドモードに移行する前の、システム停止期間を設定します。

サスペンドモードでは、消費電力が大幅に節約されます。

- ・ Disabled 設定しない
- ・ 1 Min
- ・ 2 Min
- ・ 4 Min
- ・ 8 Min
- ・ 12 Min
- ・ 20 Min
- ・ 30 Min
- ・ 40 Min
- ・ 1 Hour

HDD Power Down

ハードディスクドライブが、省電力モードに移行する時間を設定します。

- ・ Disabled 設定しない
- ・ 1 Min ~ 15Min

Soft-Off by PWR-BTTN

電源スイッチの用途を設定します。

- ・ Instant-Off 電源スイッチを押すことで、システムの電源のオン・オフを可能にする
- ・ Delay 4 Sec 電源スイッチを 4 秒押し続けることで、システムの電源をオフにする



お願い

- ・ 工場出荷時には、[Instant-off] に設定されています。[F7]キーを押す、または [Load Optimized Defaults] メニューで既定値に戻した場合、[Delay 4 Sec.] に設定されますので、[Instant-off] に設定し直してください。

Wake-Up by PME

PME 信号の入力による動作を設定します。

内蔵 LAN の Wake On LAN 機能を使用するためには [Enabled] に設定してください。

- ・ Disabled PME 信号の入力を無視する
- ・ Enabled PME 信号入力で、システムを起動、または省電力モードを解除する



お願い

- ・ 工場出荷時には、[Disabled] に設定されています。[F7]キーを押す、または [Load Optimized Defaults] メニューで既定値に戻した場合、[Enabled] に設定されますので、[Disabled] に設定し直してください。

Power On by Ring

Modem Ring を検出したときに本体の電源が自動的に入るようにするかどうかを設定します。

- ・ Disabled 電源を入れない
- ・ Enabled 電源を入れる



お願い

・工場出荷時は [Disabled] に設定されています。[F7]キーを押す、または [Load Optimized Defaults] メニューで既定値に戻した場合、[Enabled] に設定されますので、[Disabled] に設定し直してください。

Wake Up On LAN

LAN を使用して本体の電源が自動的に入るようにするかどうかを設定します。

- ・ Disabled 電源を入れない
- ・ Enabled 電源を入れる



お願い

・工場出荷時は [Disabled] に設定されています。[F7]キーを押す、または [Load Optimized Defaults] メニューで既定値に戻した場合、[Enabled] に設定されますので、[Disabled] に設定し直してください。

PWRON After PWR-Fail

停電などの不具合によりシステムがシャットダウンした場合、電源が復帰した後のシステムの状態を設定します。

- ・ Off システムの電源を入れない
- ・ On システムの電源を入れる
- ・ Last State 電源がシャットダウンした直前の状態に戻す

CPU Thermal-Throttling

CPU Thermal-Throttling の値を設定します。

- ・ 87.5%
- ・ 75.0%
- ・ 62.5%
- ・ 50.0%
- ・ 37.5%
- ・ 25.0%
- ・ 12.5%

Resume by Alarm

省電力モードの状態から、通常の状態に戻す日時を設定します。

- ・ Disabled 設定しない
- ・ Enabled 通常の状態に戻す日、時間を設定する

▼ Date (of Month) Alarm

[Resume by Alarm] が、[Enabled] に設定されている場合、省電力モードから、通常の状態に戻す日を設定できます。

▼ Time (hh:mm:ss) Alarm

[Resume by Alarm] が、[Enabled] に設定されている場合、省電力モードから、通常の状態に戻す時間、分、秒を設定できます。

Primary IDE 0 | Primary IDE 1

Secondary IDE 0 | Secondary IDE 1

それぞれの IDE インタフェースにアクセスしたときに省電力モードを解除するかどうかを設定します。

- ・ Disabled 解除しない
- ・ Enabled 解除する

FDD, COM, LPT Port

それぞれのポートにアクセスしたときに省電力モードを解除するかどうかを設定します。

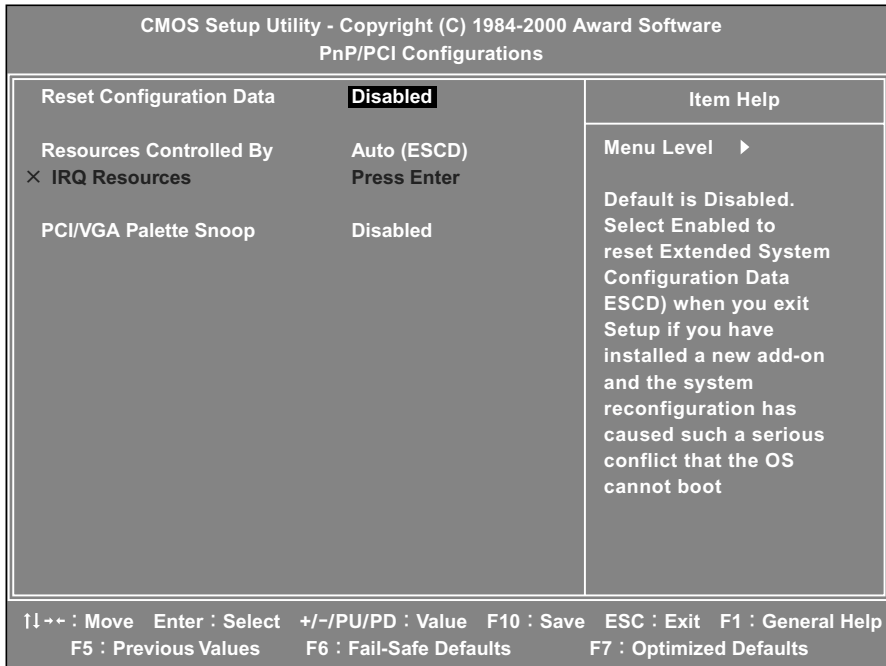
- ・ Disabled 解除しない
- ・ Enabled 解除する

PCI PIRQ [A-D]

それぞれの IRQ にアクセスしたときに省電力モードを解除するかどうかを設定します。

- ・ Disabled 解除しない
- ・ Enabled 解除する

パソコン本体やディスプレイの省電力機能について設定を行います。



(表示例)

Reset Configuration Data

CMOS のシステム構成情報を初期化するかどうかを設定します。

市販の PC カードを増設したときなど、システムが正常に起動しない場合に使用します。[Enabled] に設定し、再起動してください。

- ・ Disabled 初期化しない
- ・ Enabled 初期化する

Resources Controlled By

システムリソースの割り当てを自動的に行うかどうかを設定します。

- ・ Auto (ESCD) 自動的に割り当てる
- ・ Manual IRQ を割り当てる

▼ IRQ 3,4,5,7,9,10,11,12,14,15

[Resources Controlled By] が [Manual] に設定されている場合、IRQ を割り当てます。[Enter] キーを押すと、次のメニューが選択できます。

- ・ PCI Device
- ・ Reserved

PCI/VGA Palette Snoop

VGA パレットの色調整について指定します。

- ・ Disabled 指定しない
- ・ Enabled 指定する

本装置の動作状態を表示します。

CMOS Setup Utility - Copyright (C) 1984-2000 Award Software		
PC Health Status		
	Disabled	Item Help
CPU Warning Temperature	XX °C /XX °F	Menu Level ▶
Current System Temp.	XX °C/XXX °F	
Current CPU1 Temperature	XXXX RPM	
Current CPUFAN1 Speed	X RPM	
Current CPUFAN2 Speed	X.XX V	
IN0(V)	X.XX V	
IN1(V)	X.XX V	
IN2(V)	X.XX V	
+ 5 V	XX.XX V	
+12 V	-XX.XX V	
-12 V	-X.XX V	
- 5 V	X.XX V	
VBAT(V)	X.XX V	
5VSB(V)	Disabled	
Shutdown Temperature	Disabled	
Case Open Warning	Disabled	

↑↓←→ : Move Enter : Select +/-/PU/PD : Value F10 : Save ESC : Exit F1 : General Help
 F5 : Previous Values F6 : Fail-Safe Defaults F7 : Optimized Defaults

(表示例)

CPU Warning Temperature

本装置内の温度が上昇したとき、警告メッセージを表示する温度を設定します。

- ・ Disabledメッセージを表示しない
- ・ 40°C – 50°C
- ・ 43°C – 53°C
- ・ 46°C – 56°C
- ・ 50°C – 60°C
- ・ 53°C – 63°C
- ・ 56°C – 66°C
- ・ 60°C – 70°C

Shutdown Temperature

本装置内の温度が上昇したとき、自動的にシャットダウンする温度を設定します。

- ・ Disabledシャットダウンしない
- ・ 60°C/140°F
- ・ 65°C/149°F
- ・ 70°C/158°F
- ・ 75°C/167°F

Case Open Warning

本体カバーの開閉の検出をするかどうかを設定します。

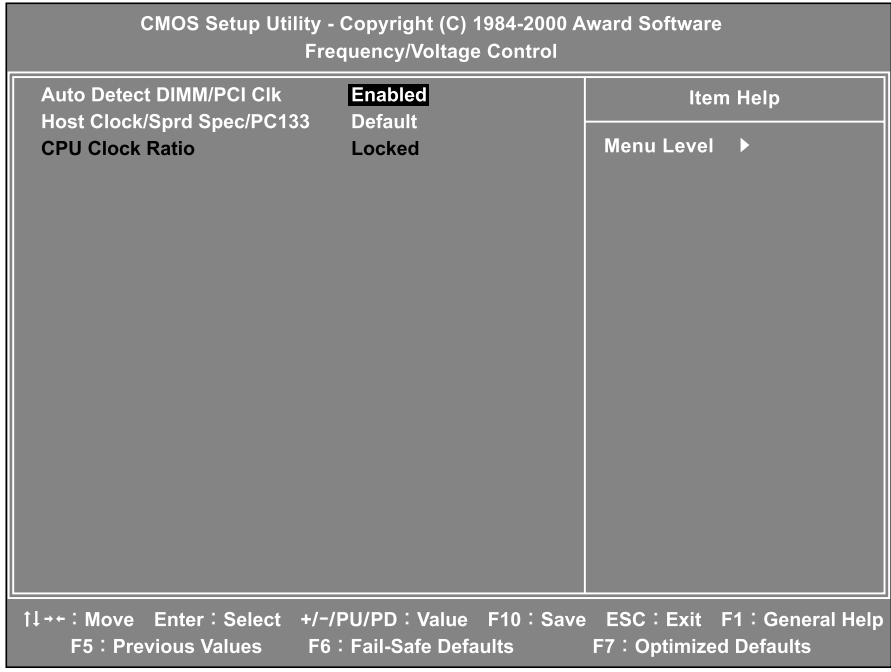
- ・ Disabled 検出しない
- ・ Enabled 検出する
- ・ Reset 検出された内容をクリアします。



お願い

・ 本装置は、この機能をサポートしていないので、常に [Disabled] の設定でご使用ください。

CPU やメモリのクロック数を設定します。



(表示例)

Auto Detect DIMM/PCI Clk

メインメモリのクロックおよび PCI クロックを自動的に設定するかどうかを設定します。

- ・ Enabled 自動設定する
- ・ Disabled 自動設定しない

Host Clock/Sprd Spec/PC133

CPU 入力クロックの選択、Sprd Spec を使用するかどうか、PC133 を使用するかどうかを設定します。

- ・ Default 既定値
- ・ 100 Mhz/0.60%/No
- ・ 105 Mhz/Off/No
- ・ 110 Mhz/Off/No
- ・ 114 Mhz/Off/No
- ・ 117 Mhz/Off/No
- ・ 122 Mhz/Off/No
- ・ 127 Mhz/Off/No
- ・ 129 Mhz/Off/No



・ [Default] 以外の設定に変更すると、誤動作する場合があります。通常は変更しないでください。

CPU Clock Ratio

CPUの動作クロック数を設定する項目です。
本装置では、変更できません。

- ・ Locked

11 Password の設定

パソコン本体にパスワードを設定して、他の人がパソコンを使用したり、設定を変えたりできないようにできます。

電源投入時にパスワードを正しく入力しないとパソコン本体は使用できません。

パスワードにはユーザパスワード (User Password) と管理者用パスワード (Supervisor Password) の 2 つがあり [Set User Password] ではユーザパスワードを、[Set Supervisor Password] では管理者用パスワードを設定できます。

パスワードを設定している場合、パソコンを起動すると「Enter Password : 」というメッセージが表示されます。設定したパスワードを入力し、**[Enter]** キーを押すと画面が表示されます。

パスワードが必要な場合は、パスワードを入力する画面が表示されたときに**[Enter]** キーを押します。

ユーザパスワードを設定した場合、ユーザパスワードでの起動時に BIOS セットアップにて設定できる項目が制限されます。

1 文字から 8 文字までのパスワードを設定します。キーボードから入力しているとき、入力した文字は表示されません。



お願い

- ・パスワードを登録する場合は、忘れないように必ずパスワードを控えてください。
- ・パスワードは表示されませんので、確認することはできません。
- ・パスワードを忘れてしまった場合、同梱の『保守サービスのご案内』をご覧ください。お近くのサービスステーションにパスワードの解除をご依頼ください。パスワードの解除は有償で行なっています。また、そのとき身分証明書 (お客様ご自身を確認できる物) の提示が必要となります。

Set Supervisor Password

管理者パスワードの設定、変更を行います。

▼ Enter Password :

設定したいパスワードを入力します。

パスワードは 1 文字から 8 文字で入力してください。

入力した文字は「****」で表示されます。

▼ Confirm Password :

[Enter Password :] でパスワードを入力後、**[Enter]** キーを押すと表示されます。

確認のためパスワードをもう 1 度入力します。

入力後、**[Enter]** キーを押すとパスワードが設定されます。



メモ

- ・管理者パスワードを使用しているときは、BIOS セットアップのすべての項目を設定できます。

●パスワードの変更

「Confirm Password : 」と表示されたとき、新しいパスワードを入力します。
[Enter]キーを押すと、「Enter Password : 」と表示されますので、もう1度パスワードを入力してください。

その後[Enter]キーを押すと、「Confirm Password : 」と表示されます。
もう1度パスワードを入力し、[Enter]キーを押すと、パスワードが変更されます。

●パスワードの削除

「Enter Password : 」と表示されたとき、[Enter]キーを押します。
「PASSWORD DISABLED ! ! ! Press any key to continue…」と表示されますので、何かキーを押してください。
パスワードが削除されます。

Set User Password

ユーザパスワードの設定、変更を行います。

▼Enter Password :

設定したいパスワードを入力します。
パスワードは1文字から8文字で入力してください。
入力した文字は「****」で表示されます。

▼Confirm Password :

[Enter Password :]でパスワード入力後、[Enter]キーを押すと表示されます。
確認のためパスワードをもう1度入力します。
入力後、[Enter]キーを押すとパスワードが設定されます。



メモ

・ユーザパスワードでパソコンを起動した場合は、BIOS セットアップで設定変更できる項目は制限されます。

●パスワードの変更

「Confirm Password : 」と表示されたとき、新しいパスワードを入力します。
[Enter]キーを押すと、「Enter Password : 」と表示されますので、再度パスワードを入力してください。

その後[Enter]キーを押すと、「Confirm Password : 」と表示されます。
もう一度パスワードを入力し、[Enter]キーを押すと、パスワードが変更されます。

●パスワードの削除

「Enter Password : 」と表示されたとき、[Enter]キーを押します。
「PASSWORD DISABLED ! ! ! Press any key to continue…」と表示されますので、何かキーを押してください。
パスワードが削除されます。

工場出荷時の設定値と既定値の一覧です。
各項目の設定方法については各メニューの詳細をご覧ください。

Standard CMOS Features

項目	工場出荷時の設定値	既定値
IDE Primary Master	(ハードディスクドライブ名)	
IDE Primary Slave	None	
IDE Secondary Master	(CD-ROMドライブまたはCD-R/RWドライブ名)	
IDE Secondary Slave	None	
Drive A	1.44M, 3.5 in.	
Drive B	None	
Video	EGA/VGA	
Halt On	All, But Keyboard	

Advanced BIOS Features

項目	工場出荷時の設定値	既定値
Virus Warning	Disabled	
CPU Internal Cache	Enabled	
External Cache	Enabled	
CPU L2 Cache ECC Checking	Enabled	
Processor Number Feature	Disabled	
First Boot Device	Floppy	
Second Boot Device	CDROM	
Third Boot Device	HDD-0	
Boot Other Device	Enabled	
Swap Floppy Drive	Disabled	
Boot Up Floppy Seek	Disabled	
Boot Up NumLock Status	On	
Security Option	System	

Advanced Chipset Features

項目	工場出荷時の設定値	既定値
SDRAM CAS Latency Time	3	
SDRAM Cycle Time Tras/Trc	7/9	
SDRAM RAS-to-CAS Delay	3	
SDRAM RAS Precharge Time	3	
System BIOS Cacheable	Disabled	
Video BIOS Cacheable	Disabled	
Memory Hole At 15M-16M	Disabled	
CPU Latency Timer	Enabled	
Delayed Transaction	Enabled	
On-Chip Video Window Size	64MB	
AGP Graphics Aperture Size	64MB	
System Memory Frequency	Auto	

Integrated Peripherals

項目	工場出荷時の設定値	既定値
On-Chip Primary PCI IDE	Enabled	
On-Chip Secondary PCI IDE	Enabled	
IDE Primary Master PIO	Auto	
IDE Primary Slave PIO	Auto	
IDE Secondary Master PIO	Auto	
IDE Secondary Slave PIO	Auto	
IDE Primary Master UDMA	Auto	
IDE Primary Slave UDMA	Auto	
IDE Secondary Master UDMA	Auto	
IDE Secondary Slave UDMA	Auto	
USB Controller	Rear	
USB Keyboard Support	Disabled	
USB Mouse Support	Disabled	
Init Display First	PCI Slot	
AC97 Audio	Enabled	
AC97 Modem	Disabled	
IDE HDD Block Mode	Enabled	
Onboard LAN Boot ROM	Enabled	
Alert On LAN	Disabled	Enabled
Onboard FDC Controller	Enabled	
Onboard Serial Port 1	3F8/IRQ4	
Onboard Serial Port 2	Disabled	
UART Mode Select	Normal	
RxD , TxD Active	Hi, Lo	
IR Transmission Delay	Enabled	
UR2 Duplex Mode	Half	
Use IR Pins	IR-R x 2T x 2	
Onboard Parallel Port	378/IRQ7	
Parallel Port Mode	ECP	
EPP Mode Select	EPP1.7	
ECP Mode Use DMA	3	
Game Port Address	201	
Midi Port Address	330	
Midi Port IRQ	10	

Power Management Setup

項目	工場出荷時の設定値	既定値
ACPI Suspend Type	S3(STR)	
Power Management	User Define	
Video Off Method	DPMS	
Video Off In Suspend	Yes	
Suspend Type	Stop Grant	
MODEM Use IRQ	NA	
Suspend Mode	Disabled	
HDD Power Down	Disabled	
Soft-Off by PWR-BTTN	Instant-off	Delay 4 Sec.
Wake-Up by PME	Disabled	Enabled
Power On by Ring	Disabled	Enabled
Wake Up On LAN	Disabled	Enabled
PWRON After PWR-Fail	Off	
CPU Thermal-Throttling	50.0%	
Resume by Alarm	Disabled	
Date (of Month) Alarm	0	
Time (hh:mm:ss) Alarm	0 0 0	
Primary IDE 0	Enabled	
Secondary IDE 0	Disabled	
Primary IDE 1	Enabled	
Secondary IDE 1	Disabled	
FDD,COM,LPT Port	Disabled	
PCI PIRQ[A-D]#	Disabled	

PnP/PCI Configurations

項目	工場出荷時の設定値	既定値
Reset Configuration Data	Disabled	
Resources Controlled By	Auto (ESCD)	
PCI/VGA Palette Snoop	Disabled	

● PC Health Status

項目	工場出荷時の設定値	既定値
CPU Warning Temperature	Disabled	
Shutdown Temperature	Disabled	
Case Open Warning	Disabled	

● Frequency/Voltage Control

項目	工場出荷時の設定値	既定値
Auto Detect DIMM/PCI Clk	Enabled	
Host Clock/Sprd Spec/PC133	Default	
CPU Clock Ratio	Locked	

6

カスタム・リカバリ CD ／リカバリ CD の使いかた

Windows 98 モデルには、カスタム・リカバリ CD が同梱されています。
Windows 2000 モデルにはリカバリ CD が同梱されています。
本章では、カスタム・リカバリ CD およびリカバリ CD の使いかたについて
説明します。

- 1** カスタム・リカバリ CD／リカバリ CD とは 170
- 2** 標準システムを復元する 171
- 3** 最小構成でシステムを復元する
(Windows 98 モデル) 177
- 4** アプリケーションを再インストールする
(Windows 98 モデル) 180

① カスタム・リカバリCD/リカバリCDとは

① カスタム・リカバリCDとは (Windows 98モデル)

Windows 98モデルには次のカスタム・リカバリCDが同梱されています。

- ・ Product Recovery CD-ROM
- ・ アプリケーション & ドライバ CD-ROM

カスタム・リカバリCDは、何らかの障害によってハードディスクが壊れてしまった場合やシステムが正常に動作しなくなってしまった場合にシステムを復元したり、一度削除してしまったアプリケーションを再インストールする場合に使用します。システムの復元やアプリケーションの再インストールには、次の方法があります。

●標準システムを復元する

ご購入時の状態に戻します。プレインストールされているデバイスドライバやアプリケーションもすべて復元されます。

☞ 「本章 2 標準システムを復元する」

●最小構成でシステムを復元する

Windowsのみを復元します。デバイスドライバやアプリケーションなどはインストールされませんので、通常は標準システムを復元することをおすすめします。

☞ 「本章 3 最小構成でシステムを復元する (Windows 98モデル)」

●アプリケーションやドライバごとに再インストールする

プレインストールされているアプリケーションのなかから、必要なアプリケーションやドライバを指定してインストールできます。

☞ 「本章 4 アプリケーションを再インストールする (Windows 98モデル)」



メモ

・カスタム・リカバリCDは絶対になくさないようにしてください。紛失した場合、再発行することはできません。

② リカバリCDとは (Windows 2000モデル)

Windows 2000モデルにはリカバリCD (「Product Recovery CD-ROM」) が同梱されています。

リカバリCDは何らかの障害によって、ハードディスクが壊れてしまった場合やシステムが正常に動作しなくなってしまった場合にシステムを復元するために使用します。

☞ 「本章 2 標準システムを復元する」

また、Windows 2000モデルには、アプリケーションCD (「Application CD-ROM」) も同梱されています。アプリケーションCDは、本製品で用意されているアプリケーションが入っています。

用意されているアプリケーションなどの一覧および概要、注意事項とインストール方法についてはアプリケーションCDをCD-ROMドライブまたはCD-R/RWドライブにセットし、表示される初期画面をご覧ください。



メモ

・リカバリCD/アプリケーションCD-ROMは絶対になくさないようにしてください。紛失した場合、再発行することはできません。

2 標準システムを復元する

本製品にあらかじめインストールされている Windows やアプリケーションを復元し、ご購入時の状態に戻します。

1 準備

次のものを使用します。


- Product Recovery CD-ROM
- 取扱説明書（本書）


Microsoft Office^(*) がプレインストールされているパソコンの場合は、上記に加えて製品に同梱されている次のものを使用します。

- Microsoft[®] Office XP Personal CD-ROM
- Microsoft[®] Bookshelf[®] Basic CD-ROM

2 操作手順

Windows 98 モデルの場合

-  **注意** ・復元する際にハードディスクのフォーマットを行います。ハードディスクの内容はすべて削除されますので、必要なデータがある場合には、あらかじめフロッピーディスクなどに保存してください。
ハードウェア構成を変更している場合には、本パソコンをご購入時の状態に戻してから、システムの復元を行なってください。
・BIOS セットアップの [Advanced BIOS Features] で [First Boot Device]、[Second Boot Device]、[Third Boot Device] の設定がご購入の状態と異なる場合、Product Recovery CD-ROM から起動されません。必ずご購入時の設定に戻してから、システムの復元を行なってください。

 BIOS セットアップについて ⇨ 「5 章 BIOS セットアップについて」

1 パソコンをご購入時の状態に戻す

増設したハードディスクドライブや周辺機器などははずし、フロッピーディスクドライブからフロッピーディスクを取り出してください。

2 「Product Recovery CD-ROM Disk 1」を CD-ROM ドライブまたは CD-R/RW ドライブにセットする

3 パソコンを再起動する

システムが再起動し、「復元する構成を選択してください」のメッセージが表示されます。

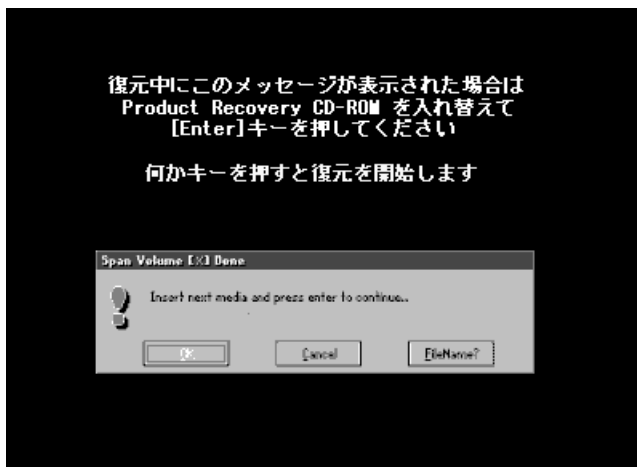
4 **[1]**キーを押す

「ハードディスクの内容は、すべて削除されます！」のメッセージが表示されます。

5 **[Y]**キーを押す

処理を中止する場合は、**[N]**キーを押してください。

6 次のメッセージが表示された場合は、メッセージを確認し、何かキーを押す



ここで表示されるメッセージは、復元の途中で表示されるメッセージについての説明です。内容をご確認のうえ、そのまま何かキーを押してください。

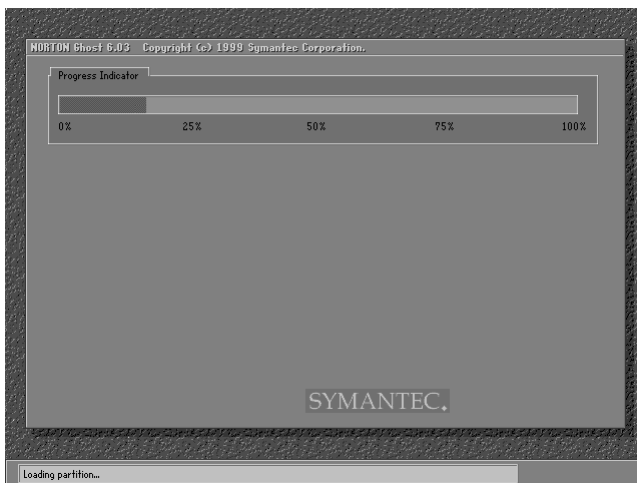


・「Product Recovery CD-ROM」が1枚の場合は、このメッセージは表示されません。

メモ

復元中は、次の画面が表示されます。

復元の進行状況を示すグラフ表示が、100%のところまで達し、もう1度グラフ表示が100%に達すると完了です。



(表示例)

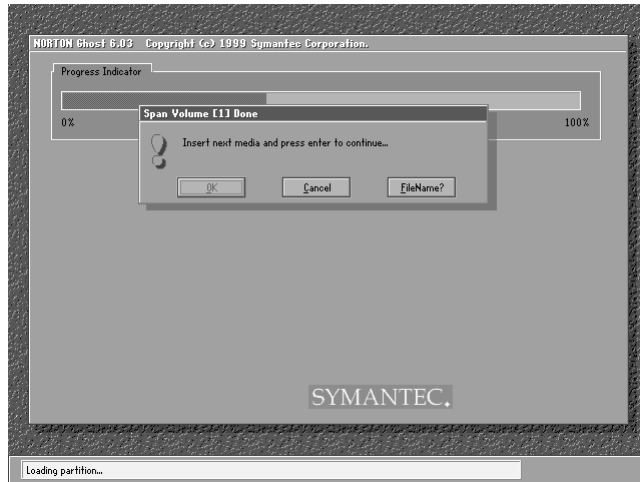
7 表示されるメッセージに従って復元を行う

復元中に次のメッセージが表示された場合は、CDを入れ替え、**[Enter]**キーを押してください。処理が続きます。



メモ

・「Product Recovery CD-ROM」が1枚の場合は、このメッセージは表示されません。



(表示例)

復元が完了すると、終了画面が表示されます。

8 CDを取り出し、何かキーを押す

システムが再起動します。



お願い

・CDをセットしたままキーを押すと、再度システムの復元が始まります。必ずCDを取り出してからキーを押してください。

9 Windowsのセットアップを行う

☞ Windowsのセットアップについて ⇨ 「2章 2 初めて電源を入れるときは」

Microsoft Office^(*)のセットアップCDが同梱されているパソコンの場合

Microsoft Office^(*)は、以上の手順では復元されません。

Windowsのセットアップが終了した後に、アプリケーションのパッケージに同梱されている説明書を参照のうえ、復元してください。

(*) Microsoft[®] Office XP Personal および Microsoft[®] Bookshelf Basic

Windows 2000 モデルの場合

- 注意**
- ・復元する際にハードディスクのフォーマットを行います。ハードディスクの内容はすべて削除されますので、必要なデータがある場合には、あらかじめフロッピーディスクなどに保存してください。
ハードウェア構成を変更している場合には、本パソコンをご購入時の状態に戻してから、システムの復元を行なってください。
 - ・BIOS セットアップの [Advanced BIOS Features] で [First Boot Device]、[Second Boot Device]、[Third Boot Device] の設定がご購入の状態と異なる場合、Product Recovery CD-ROM から起動されません。必ずご購入時の設定に戻してから、システムの復元を行なってください。

BIOS セットアップについて ⇨ 「5 章 BIOS セットアップについて」



ご購入時の状態でシステムを復元した場合、工場出荷時のパーティション設定は、全領域が C ドライブ (NTFS) に設定されています。

1 パソコンをご購入時の状態に戻す

増設したハードディスクドライブや周辺機器などははずし、フロッピーディスクドライブからフロッピーディスクを取り出してください。

2 「Product Recovery CD-ROM Disk 1」を CD-ROM ドライブまたは CD-R/RW ドライブにセットする

3 パソコンを再起動する

4 復元を行う場合は **Y** キーを、行わない場合は **N** キーを押す

Y キーを押すと、「ハードディスクの内容は、すべて削除されます！」というメッセージが表示されます。

5 復元を続行する場合は **Y** キーを、復元を中止する場合は **N** キーを押す

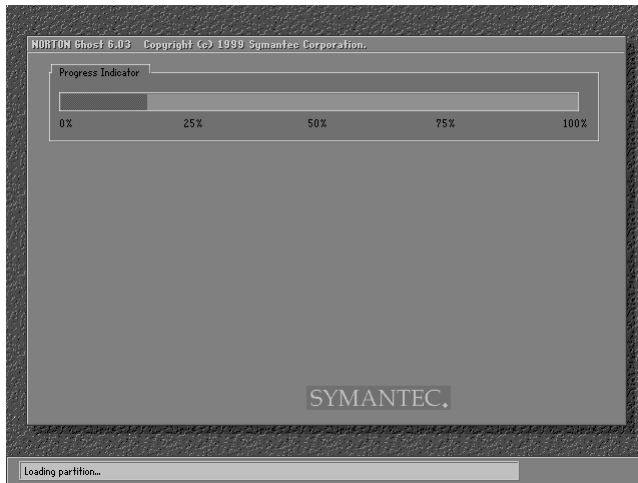
6 次のメッセージが表示された場合は、メッセージを確認し、何かキーを押す



ここで表示される画面は、復元の途中で表示されるメッセージについての説明です。内容をご確認のうえ、そのまま何かキーを押してください。

復元中は、次の画面が表示されます。

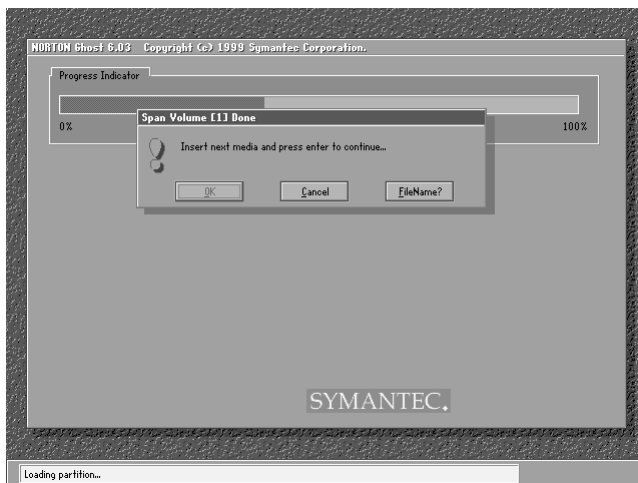
復元の進行状況を示すグラフ表示が、100%のところまで達し、もう1度グラフ表示が100%に達すると完了です。



(表示例)

7 表示されるメッセージに従って復元を行う

復元中に次のメッセージが表示された場合には、CDを入れ替え、**[Enter]**キーを押してください。処理が続きます。



(表示例)

復元が完了すると、終了画面が表示されます。

8 CDを取り出し、何かキーを押す

システムが再起動します。

9 Windowsのセットアップを行う

☞ Windowsのセットアップについて ☞ 「2章 2 初めて電源を入れるときは」

Microsoft Office^(*) のセットアップ CD が同梱されているパソコンの場合

Microsoft Office^(*) は、以上の手順では復元されません。

Windows のセットアップが終了した後に、アプリケーションのパッケージに同梱されている説明書を参照のうえ、復元してください。

(*1) Microsoft[®] Office XP Personal および Microsoft[®] Bookshelf Basic

3 最小構成でシステムを復元する(Windows 98モデル)

Windows 98 モデルでは、Windows のみを復元することができます。最小構成でシステムを復元しますので、ご購入時にプレインストールされていたデバイスドライバやアプリケーションなどはインストールされません。Windows のセットアップ終了後、本製品に同梱されている「アプリケーション & ドライバ CD-ROM」から、必要なデバイスドライバおよびアプリケーションをインストールしてください。



メモ

- ・最小構成でシステムを復元する場合でも、標準システムを復元する場合と同じディスク使用量（ご購入時のディスク使用量）が必要です。
- ・最小構成で復元した場合は、デバイスドライバやアプリケーションはインストールされません。本製品の機能をすべてご利用になるには、「アプリケーション & ドライバ CD-ROM」から、デバイスドライバなどをインストールする必要がありますので、通常は標準システムを復元することをおすすめします。
- ・最小構成で復元した場合は、Windows のセットアップの画面が、パソコンご購入後初めて電源を入れるとき、または標準システムの復元時と異なります。また、Windows のセットアップに時間がかかります。途中、作業画面が止まったように見えるときがありますが、間違って電源を切ったりしないでください。

1 準備

次のものを使用します。

- Product Recovery CD-ROM
- 取扱説明書（本書）

また、Windows セットアップ時に Product Key の入力が必要です。Product Key はパソコン本体に貼られている Microsoft "Certificate of Authenticity" ラベルに印刷されています。あらかじめ紙などに書き写しておいてください。

2 操作手順



- 注意** ・復元する際にハードディスクのフォーマットを行います。ハードディスクの内容はすべて削除されますので、必要なデータがある場合には、あらかじめフロッピーディスクなどに保存してください。
- ハードウェア構成を変更している場合には、本パソコンをご購入時の状態に戻してから、システムの復元を行なってください。
- ・BIOS セットアップの [Advanced BIOS Features] で [First Boot Device]、[Second Boot Device]、[Third Boot Device] の設定がご購入の状態と異なる場合、Product Recovery CD-ROM から起動されません。必ずご購入時の設定に戻してから、システムの復元を行なってください。

1 パソコンをご購入時の状態に戻す

増設したハードディスクドライブや周辺機器などははずし、フロッピーディスクドライブからフロッピーディスクを取り出してください。

2 「Product Recovery CD-ROM Disk 1」を CD-ROM ドライブまたは CD-R/RW ドライブにセットする

6 章

カスタム・リカバリCD
／リカバリCDの使いかた

3 パソコンを再起動する

システムが再起動し、「復元する構成を選択してください」のメッセージが表示されます。

4 [2]キーを押す

「ハードディスクの内容は、すべて削除されます！」のメッセージが表示されます。

5 [Y]キーを押す

処理を中止する場合は、[N]キーを押してください。

6 次のメッセージが表示された場合は、メッセージを確認し、何かキーを押す



ここで表示されるメッセージは、復元の途中で表示されるメッセージについての説明です。内容をご確認のうえ、そのまま何かキーを押してください。

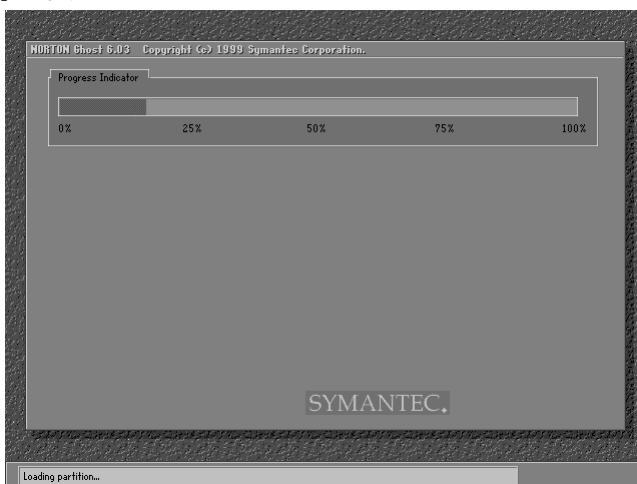


メモ

・「Product Recovery CD-ROM」が1枚の場合は、このメッセージは表示されません。

復元中は、次の画面が表示されます。

復元の進行状況を示すグラフ表示が、100%のところまで達し、もう1度グラフ表示が100%に達すると完了です。



(表示例)

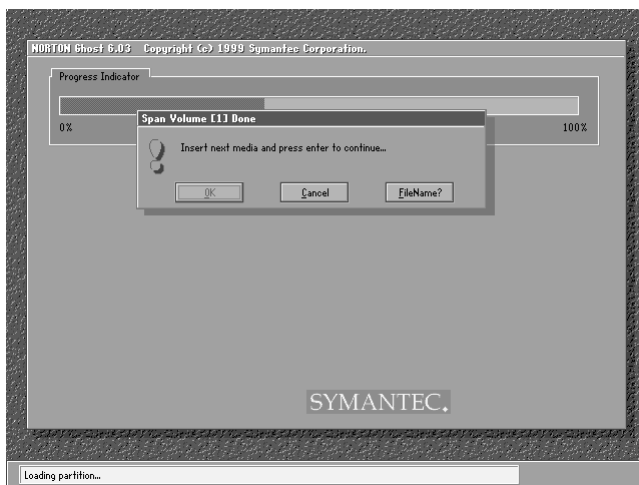
7 表示されるメッセージに従って復元を行う

復元中に次のメッセージが表示された場合は、CDを入れ替え、**[Enter]**キーを押してください。処理が続きます。



メモ

・「Product Recovery CD-ROM」が1枚の場合は、このメッセージは表示されません。



(表示例)

復元が完了すると、終了画面が表示されます。

8 CDを取り出し、何かキーを押す

パソコンが再起動し、[最小構成の復元]画面が表示されます。最小構成でシステムを復元した時の注意事項が書かれていますので、必ずお読みください。

読み終わったら、何かキーを押してください。



お願い

・CDをセットしたままキーを押すと、もう1度システムの復元が始まります。必ずCDを取り出してからキーを押してください。

[Windows セットアップの確認]画面が表示されます。

9 **[Enter]**キーを押す

Windows セットアップウィザードが起動します。

10 Windows のセットアップを行う

画面の指示に従って操作してください。

セットアップ途中に、[最小構成システムへ復元時に必ずお読みください。]画面が表示されます。最小構成でシステムを復元した時の注意事項が書かれていますので、必ずお読みください。表示されていない部分を見るには、**[↑]****[↓]**ボタンをクリックするか、**[PageUp]**キー、**[PageDown]**キーを使って画面を動かしてください。

読み終わったら、[閉じる]ボタン (**[X]**) をクリックし、画面を閉じてください。

4

アプリケーションを再インストールする(Windows 98モデル)

Windows 98 モデルにプレインストールされているアプリケーションやドライバを一度削除してしまっても、システムの復元を行うことなく、アプリケーションごとに再インストールすることができます。

再インストールには「アプリケーション & ドライバ CD-ROM」を使用します。

1 操作手順

- 1 「アプリケーション & ドライバ CD-ROM」を CD-ROM ドライブまたは CD-R/RW ドライブにセットする
- 2 表示されるメッセージに従ってインストールを行う

7

困ったときは

本章では、困ったときの対処方法を説明します。
操作中、うまく動作しないときにお読みください。

1	困ったときのQ&A	182
----------	-----------------	-----



1 困ったときのQ&A

実際に本装置を操作しようとしたときに、思ったとおりに操作できなかつたり、何をしたらよいかわからないときがあります。すぐに、故障だ！とあわてる前に、この章をお読みください。

各システムのコマンドを使用しているときにエラーメッセージが表示された場合は、『各システムに付属の説明書』をご覧ください。

アプリケーションソフトをご使用のかたは、それぞれの『アプリケーションソフトに付属の説明書』をお読みください。

● 電源が入らない	182
● 正常に起動しない	183
● エラーメッセージが表示される	183
● 画面の表示がおかしい	184
● キーボードのキーを押しても希望の文字が入力されない	185
● マウスの操作ができない.....	186
● フロッピーディスクドライブが使えない.....	186
● フロッピーディスクが使えない	187
● アプリケーションソフトが使えない	188
● ハードディスクドライブが使えない	188
● CD-ROM ドライブ / CD-R/RW ドライブが使えない.....	188
● サウンドが鳴らない	189
● 印刷できない.....	189
● テレビ、ラジオに障害が出る	190
● 省電力機能が正常に動作しない	190
● 異常や故障の場合	191
● どうしてもわからない場合.....	191

● 電源が入らない

状 況 ● 本体の電源が入らない

確認 電源コードはパソコン本体の電源コネクタと電源コンセントに差し込まれていますか？

対処 ● 電源コードをパソコン本体の電源コネクタと電源コンセントに差し込んでください。

確認 ACスイッチはONになっていますか？

対処 ● 本体背面のACスイッチをONにしてください。

確認 電源ランプは点灯していますか？

対処 ● 電源スイッチを押してください。

確認 電源コンセントに電気が通じていますか？

対処 ● 電気の通じている電源コンセントに差ししてください。

● 正常に起動しない

状況 ● システムが正常に起動しない

確認 PCIカードを増設しましたか？

対処 ● BIOS セットアップの [PnP/PCI Configurations] で [Reset Configuration Data] を [Enabled] に設定してください。
☞ BIOS セットアップについて ☞ 「5章 BIOS セットアップについて」
● PCI スロットを変更してください。

● エラーメッセージが表示される

状況 ● 起動時にエラーメッセージが表示される

確認 システムの入っていないフロッピーディスクがセットされていませんか？

対処 ● フロッピーディスクを取り出してから、再起動する

確認 電源を切って、また、すぐに入れませんでしたか？

対処 ● 電源を切ってから5秒以上待って電源を入れてください。

状況 ● アプリケーションソフト使用時にエラーメッセージが表示される

対処 ● 『アプリケーションソフトに付属の説明書』をご覧ください。

状況 ● 「CMOS Battery Low」というエラーメッセージが表示される

確認 内蔵バッテリーが消耗していませんか？

対処 ● 内蔵バッテリーを交換してください。
☞ 「4章 11 内蔵バッテリーの交換」

● 画面の表示がおかしい

状況 ● 画面に何も映らない

確認 パソコン本体およびディスプレイの電源は入っていますか？

対処 ● 電源を入れてください。

確認 ディスプレイ用電源コードは接続されていますか？

対処 ● 電源をいったん切ってから、コンセントに差し込んでください。

確認 ディスプレイ用信号ケーブルは正しく接続されていますか？

対処 ● ゆるみがないように正しく接続してください。

確認 表示自動停止機能が働いていませんか？

対処 ● **[Shift]** キーを押したり、マウスを動かしたり、電源スイッチを押してください。

確認 USB 対応機器を接続していますか？

対処 ● 接続されている USB 対応機器によっては、USB 対応機器の電源を入れた後、パソコン本体の電源を入れると、パソコン本体が起動しない場合があります。
パソコン本体の電源を入れてから USB 対応機器の電源を入れてください。

確認 ディスプレイの交換または解像度、リフレッシュレートの変更を行いましたか？

対処 ● ご使用のディスプレイの仕様に合った解像度、リフレッシュレートに設定してください。
☞ 「3章 3 ディスプレイ解像度の変更」
また、ディスプレイの仕様に合った解像度、リフレッシュレートに設定しても正しく表示が行えない場合は、ディスプレイドライバとユーティリティの再インストールを行なってください。

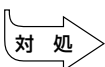
状況 ● 画面の表示が乱れる、あるいは画面のサイズや表示位置等が異常である

確認 ディスプレイの輝度、コントラスト等の調整および、各調整スイッチでの調整は正しくできていますか？

対処 ● 輝度、コントラストおよび各調整スイッチを用いて、正しく調整してください。

☞ 『ディスプレイに付属の説明書』

確認 ディスプレイの交換または解像度、リフレッシュレートの変更を行いましたか？



● ご使用のディスプレイの仕様に合った解像度、リフレッシュレートに設定してください。

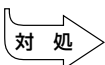
☞ 「3章 3 ディスプレイ解像度の変更」

また、ディスプレイの仕様に合った解像度、リフレッシュレートに設定しても正しく表示が行えない場合は、ディスプレイドライバとユーティリティの再インストールを行なってください。

● キーボードのキーを押しても希望の文字が入力されない

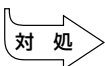
状況 ● キーボードから入力できない

確認 キーボードケーブルのプラグをマウスコネクタに接続していませんか？



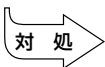
● キーボードケーブルのプラグをキーボードコネクタに接続してください。

状況 ● どのキーを押しても反応しない



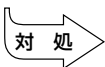
● 電源を切って、しばらくしてから電源を入れ直してください。

状況 ● 電源を入れ直しても反応しない



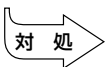
● **Ctrl** + **Alt** + **Delete** キーを押してください。

状況 ● **Ctrl** + **Alt** + **Delete** キーを押しても反応しない



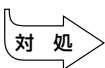
● リセットスイッチを押してください。

状況 ● 半角の「～」（チルダ）が入力できない



● **Shift** + **～** キーを押してください

状況 ● 希望の文字が入力できない



● キーボードの文字キーは、文字ロックの状態によって、入力される文字が異なります。お使いの『日本語入力システムに付属の説明書』を参照して、文字ロックを希望の状態にしてください。

● マウスの操作ができない

状況 ● マウスを操作しても反応しない

確認 マウスがキーボードコネクタに接続されていませんか？

対処 ● マウスをマウスコネクタに接続してください。

● フロッピーディスクドライブが使えない

状況 ● フロッピーディスクをセットし、**[Ctrl]+[Alt]+[Delete]**キーを押しても（またはリセットスイッチを押しても）、システムが再起動しない

確認 システムが入っていないフロッピーディスクをセットしていませんか？

対処 ● システムが入ったフロッピーディスクをセットしてください。

確認 フロッピーディスクは正しく挿入されていますか？

対処 ● BIOS セットアップの [Integrated Peripherals] で [Onboard FDC Controller] の設定を [Enabled] に変更してください。
☞ BIOS セットアップ ☞ 「5章 BIOS セットアップについて」

● 正しく挿入されていない場合があります。フロッピーディスクを一度抜いて、もう1度挿入し直してください。
どうしてもフロッピーディスクドライブが使えない場合は、フロッピーディスクドライブが故障している場合があるので、お使いの機種を確認後、同梱の『保守サービスのご案内』をご覧ください。お近くのサービスステーションへご連絡ください。

状況 ● FDD アクセスランプが消えない

対処 ● 大量のデータを処理しているときは、ランプが消えるまで待ってください。どうしてもランプが消えないときは、作業を中断（フロッピーディスクを取り出してから電源を切る、または**[Ctrl]+[Alt]+[Delete]**キーを押す）してください。再起動後、同じ作業を繰り返してみても、それでもFDD アクセスランプが消えない場合は、お買い上げの販売店、もしくは同梱の『保守サービスのご案内』をご覧ください。お近くのサービスステーションへご連絡ください。

● フロッピーディスクが使えない

状況 ● 「書き込み禁止です。」というエラーメッセージが表示された

確認 フロッピーディスクが書き込み禁止状態になっていませんか？

対処 ● フロッピーディスクを取り出して、書き込み可能状態にしてください。
☞ 書き込み可能状態について ⇨ 「1章 4-4 3.5型フロッピーディスク」

状況 ● 「ファイルが作れません。」というエラーメッセージが表示された

確認 フォルダは作成されていますか？

対処 ● フォルダを作って、そこにファイルを作ってください。

状況 ● 「ディスクがいっぱいです。」というエラーメッセージが表示された

確認 ディスクの空き容量が少なくありませんか？

対処 ● 不要なファイルを削除して、やり直してください。
● 別のフロッピーディスクを使用してください。

状況 ● フロッピーディスクドライブにフロッピーディスクを挿入しているのに、「アクセスできません。デバイスの準備ができていません」というメッセージの画面が表示される

対処 ● メッセージ画面の [キャンセル] ボタンをクリックしてメッセージ画面を閉じたあと、フロッピーディスクをもう1度挿入し直して、再度アクセスを行なってください。

状況 ● フロッピーディスクドライブに、フロッピーディスクを挿入しているのに、「ドライブAのディスクはフォーマットされていません。今すぐフォーマットしますか？」というメッセージ画面が表示される

確認 フロッピーディスクはフォーマットされていますか？

対処 ● フロッピーディスクがフォーマットされている場合は、[キャンセル] ボタンをクリックしてメッセージ画面を閉じた後、フロッピーディスクを挿入し直して、もう1度アクセスを行なってください。
● フロッピーディスクがフォーマットされていない場合、書き込み（データの保存）ができません。このままフォーマットをする場合は、[はい] ボタンをクリックしてください。

● アプリケーションソフトが使えない

状況 ●アプリケーションソフトが思うように動かない

確認 システム構成は正しく設定されていますか？

対処 ●『アプリケーションソフトに付属の説明書』を読んで、指示があればシステム構成を変更してください。

状況 ●アプリケーションソフトが動かない

確認 そのアプリケーションソフトはシステムに対応していますか？

対処 ●システムに対応していないアプリケーションソフトは使えません。お使いのシステムに対応しているアプリケーションソフトをお買い求めください。

● ハードディスクドライブが使えない

状況 ●データの読み／書きができない

対処 ●そのハードディスクドライブは故障しているおそれがあるので、お使いの機種を確認後、同梱の『保守サービスのご案内』をご覧のうえ、お近くのサービスステーションへご連絡ください。

● CD-ROM ドライブ／CD-R/RW ドライブが使えない

※内蔵されているドライブの種類は、ご購入のモデルによって異なります。

状況 ●CD-ROM ドライブまたは CD-R/RW ドライブにアクセスできない

確認 CD-ROM ドライブまたは CD-R/RW ドライブのディスクトレイはきちんとしまっていますか？

対処 ●CD-ROM ドライブまたは CD-R/RW ドライブのディスクトレイを正しく格納してください。

確認 CD がきちんとセットされていますか？

対処 ●CD-ROM ドライブまたは CD-R/RW ドライブのディスクトレイを引き出し、ラベルが付いている方を上にして、CD をセットしてください。

確認 CD-ROM ドライブまたは CD-R/RW ドライブのディスクトレイに異物はありませんか？

対処 ●何かはさまっていたら取り除いてください。

確認 CDが汚れていませんか？

対処 ● 水か中性洗剤で湿らせた布で、汚れを拭き取ってください。

確認 対応していないフォーマットのCD-ROMをセットしていませんか？

対処 ● CD-ROMドライブまたはCD-R/RWドライブが対応しているフォーマットのCD-ROMをセットしてください。

☞ 「1章 4-3 CD-ROMドライブ／CD-R/RWドライブについて」

状況 ● CDが取り出せない

確認 電源が切れていませんか？

対処 ● 電源を入れてから、CD-ROMドライブまたはCD-R/RWドライブのイジェクトボタンを押してください。

● サウンドが鳴らない

状況 ● 音楽用CDやWAVファイルを再生しても、音が出ない

確認 ボリュームが下がっていませんか？

対処 ● ボリュームコントロールで、音量を確認してください。

確認 スピーカが接続されていますか？

対処 ● 本体背面のLINE OUT端子にスピーカを接続してください。
☞ スピーカの接続方法 ⇨ 「4章 5 スピーカの接続」

● 印刷できない

状況 ● 本体に接続したプリンタが動作しない

確認 プリンタの電源は入っていますか？

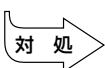
対処 ● 本体の電源をいったん切り、プリンタ、本体の順で電源を入れ直してください。

確認 接続ケーブルや接続コネクタが正しく接続されていますか？

対処 ● 正しく接続してください。
☞ プリンタの接続方法 ⇨ 「4章 3 プリンタの接続」

状況 ●画面上の表示と異なった印刷物が出てきたり、うまく印刷できない

確認 アプリケーションソフト上でのプリンタの設定条件は、ご使用のプリンタの設定に合っていますか？



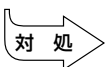
対処

- アプリケーションソフト上、または Windows のプリンタ設定で正しく設定し直してください。
☞ 『アプリケーションソフトに付属の説明書』
- BIOS セットアップの [Integrated Peripherals] で [Parallel Port Mode] を正しく設定し直してください。
☞ BIOS セットアップ ⇨ 「5章 BIOS セットアップについて」

● テレビ、ラジオに障害が出る

状況 ●テレビ、ラジオの調子がおかしい

確認 テレビ、ラジオの近くにパソコン本体やディスプレイを置いていませんか？



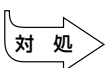
対処

- テレビ、ラジオの室内アンテナの方向を変えてください。
- テレビ、ラジオに対するパソコン本体やディスプレイの方向を変えてください。
- テレビ、ラジオから離してください。
- テレビ、ラジオの電源コンセントとは別の電源コンセントを使ってください。
- 電源コンセントと機器の電源プラグとの間に市販のフィルタを入れてください。
- 受信機に屋外アンテナを使ってください。
- 平衡フィーダを同軸ケーブルに替えてください。

● 省電力機能が正常に動作しない

状況 ●省電力機能が正常に動作しない

確認 市販の PCI カードまたは USB 対応機器を接続していますか？

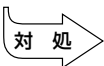


対処

- 接続している PCI カードまたは USB 対応機器の種類によっては正常に省電力機能が動作しない場合があります。BIOS セットアップの [Power Management Setup] で [ACPI Suspend Type] を [S1 (POS)] に設定してください。
☞ BIOS セットアップ ⇨ 「5章 BIOS セットアップについて」
- Windows 上の省電力機能を使用しないでください。

● 異常や故障の場合

状 況 ● 異常な臭いや過熱に気がついた



対 処

- 電源を切り、電源コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 次のところに連絡してください。
 - ・ お買い上げの販売店それでもわからない場合は、同梱の『保守サービスのご案内』をご覧のうえ、お近くのサービスステーションへご連絡ください。
 - ・ 使用している機器の名称
 - ・ ご購入年月日
 - ・ 現在の状態できるだけ詳細にご連絡ください。

● どうしてもわからない場合

操作できない原因がどうしてもわからない場合は、同梱の『ユーザサポート窓口のご案内』をご覧のうえ、現在の状態をメモし、お買い上げの販売店または同梱の『保守サービスのご案内』をご覧のうえ、お近くのサービスステーションにご相談ください。

付録

本装置の仕様や、その他の設定方法について説明しています。

1	製品仕様	194
2	各インタフェース	201
3	その他の設定	209

1 製品仕様

1 仕様概要

モデルにより多少異なります。

機種		EQUIUM 3120		
プロセッサ	メインプロセッサ	Celeron™ 766MHz		
		・ CACHE (32kB) ・ FPU内蔵 ・ 2次CACHE (128kB)		
メモリ	標準メモリ	SDRAM DIMM 64/128MB (100MHz)		
	増設メモリ	DIMMスロットx3 (内1つは標準メモリで使用) 使用可能 SDRAM DIMM 128MB (100、133MHz)		
	ROM	FLASH MEMORY 4Mbit (書き換え可能)		
表示機能	コントローラ	Intel 815e Integrated		
	ビデオRAM	メインメモリ共用		
	グラフィック表示 (ノンインタレース)	640 x 480	256	64k・16M色
		800 x 600	256	64k・16M色
1024 x 768		256	64k・16M色	
1280 x 1024		256	64k・16M色	
1600 x 1200	256	色		
通信機能	伝送速度	100Mbps/10Mbps		
	適合規格	100BASE-TX/10BASE-T		
サウンド	コントローラ	Intel i815E Integrated Soft Audio		
補助記憶装置	FDD	標準	3.5型 1台装備 720kB/1.2MB/1.44MB (3モード)	
		HDD	標準	3.5型 20GB
	増設		内蔵3.5型スロット	
	CD-ROM*1 または CD-R/RW	標準	CD-ROM	ATAPI 48倍速 (最大)
			CD-R/RW	ATAPI CD-ROM : 32倍速 (最大読み込み) CD-R/W : 10倍速 (最大書き込み) CD-R : 12倍速 (最大書き込み)
入力装置	キーボード	109Aキー 分離型		
	マウス	2ボタンホイール付き PS/2マウス		
システム制御		PCI (Peripheral Component Interconnect)		
ファイル スロット	3.5型 ドライブキャリア	3スロット (内2つはFDDとHDDで使用)		
	5型 ファイルスロット	2スロット (内1つはCD-ROMまたはCD-R/RWで使用)		

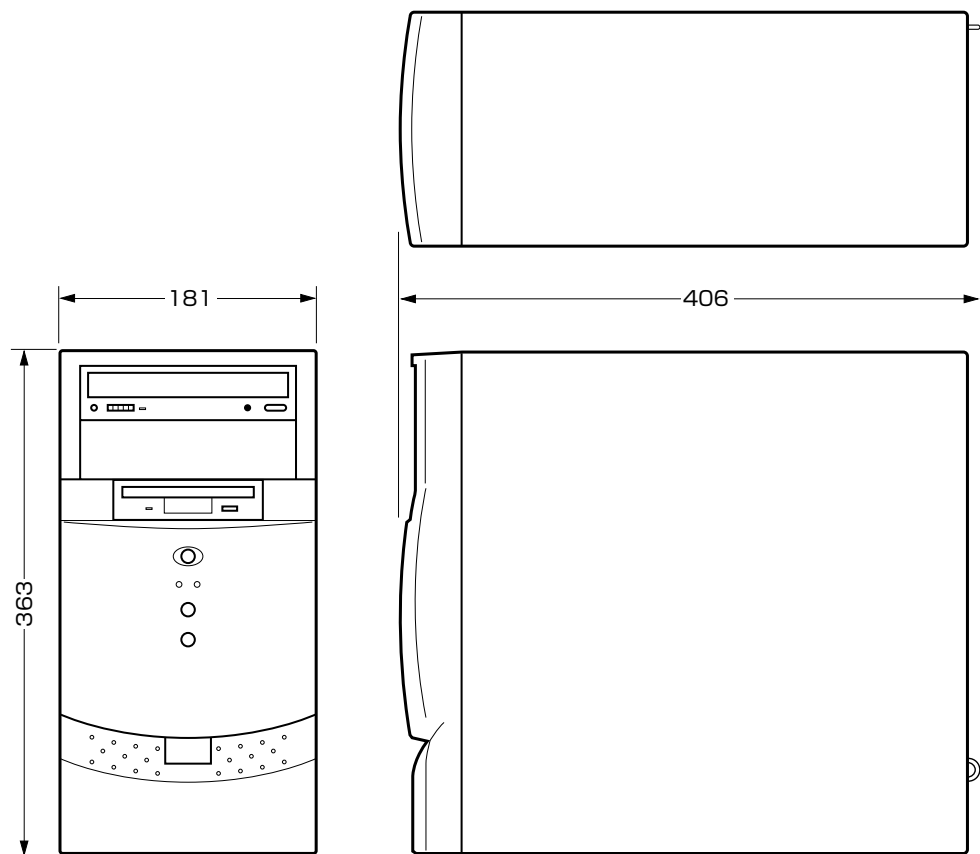
*1 ご購入のモデルにより、異なります。

機種		EQUIM 3120
インタフェース	シリアル	1ポート D-Sub 9ピン、16C550互換
	パラレル	1ポート セントロニクス準拠
	アナログRGB	1ポート アナログ RGB セパレート信号出力、ミニD-sub15ピン (3列タイプ)
	PS/2マウス	1ポート
	PS/2キーボード	1ポート
	LAN	1ポート
	オーディオ	LINE IN、LINE OUT、マイク端子
	USB	2ポート
	MIDI/ ジョイスティック	1ポート
拡張スロット	PCI	PCIフルサイズ x3 *2
	AGP	AGPx4対応 x1 *2
カレンダー機能		日付、時計機能 ボタン型バッテリー使用 電池交換可 寿命約3年
特殊機能	パワーマネージメント	HDD : パワーダウン
	PnP	Plug&Play対応BIOS
電源	電源条件	100V 50/60Hz
	最大消費電力	200W
周囲温度	動作	10℃～35℃
	非動作	-20℃～60℃
相対湿度	動作	20%Rh～80%Rh (ただし結露しないこと)
	非動作	20%Rh～90%Rh (ただし結露しないこと)
外形寸法	本体	181(W) x 406(D) x 363(H) mm
	キーボード	454(W) x 173(D) x 42(H) mm (非チルトアップ時)
質量	本体	約9.8kg
	キーボード	約0.9kg

*2 内蔵3.5インチベイに増設した場合は、290mm以下となります。

2 外形寸法図

*イラストは、CD-ROM モデルです。



(単位：mm)

3 メモリマップ

アドレス	容量	定義
00000000	512kB	システムボードRAM
00080000	127kB	ユーザ使用可能メモリ
0009FC00	1kB	BIOS設定保存エリア他
000A0000	160kB	ビデオRAM/BIOSエリア他
000C8000	96kB	PCIバス (拡張オプションROM)
000E0000	64kB	BIOSリザーブ
000F0000	64kB	BIOS ROM
00100000	~511MB	システムボードRAMエリア
20000000		

4 I/O マップ

アドレス	サイズ	Plug & Play	I/O
0000-000F	16バイト	N/A	DMA controller
0020-0021	2バイト	N/A	Programmable Interrupt Control
0040-0043	4バイト	N/A	System Timer
0060	1バイト	N/A	Keyboard Controller byte-reset IRQ
0061	1バイト	N/A	System Speaker
0064	1バイト	N/A	Keyboard Controller. CMD/STAT byte
0070-0071	2バイト	N/A	Real-Time Clock
0072-0073	2バイト	N/A	System CMOS
0080-008F	16バイト	N/A	DMA Controller
0092	1バイト	N/A	Fast A20 and PIC
00A0-00A1	2バイト	N/A	PIC
00B2-00B3	2バイト	N/A	APM control
00C0-00D0	32バイト	N/A	DMA
00F0	1バイト	N/A	Numeric data processor
0170-0177	8バイト	NO	Secondary IDE channel
01F0-01F7	8バイト	NO	Primary IDE channel
022-02C7 0208-020F 0210-0217 0218-021F	1-8バイト	YES(Rev 1.1)	Audio/game port
0220-022F	16バイト	YES(Rev 1.1)	Audio
0240-024F	16バイト	YES(Rev 1.1)	Audio
0228-022F*	8バイト	YES	LPT3
0278-027F*	8バイト	YES	LPT2
02E8-02EF*	8バイト		COM4/video (8514A)
02F8-02FF	8バイト	YES	COM2
0320-0327 0330-0337 0340-0347 0350-0357	8バイト		MPU-401 (MIDI)
0376	1バイト	NO	Secondary IDE Channel Command port
0377	1バイト	NO	Secondary IDE Channel Status port
0378-037F	8バイト	YES	LPT1
0388-038B	6バイト		AdLib+ (FM synthesizer)
03B0-03BB	12バイト		Intel 82815 Graphics/Memory Controller Hub (GMCH)
03C0-03DF	32バイト		Intel 82815 Graphics/Memory Controller Hub (GMCH)
03E8-03EF	8バイト	YES	COM3
03F0-03F5	6バイト		Diskette channel 1
03F6	1バイト		Primary IDE channel Command port
03F8-03FF	8バイト		Com1

アドレス	サイズ	Plug & Play	I/O
04D0-04D1	2バイト		Edge/level triggered PIC
One of these ranges: 0530-0537 0E80-0E87 0F40-0F47	8バイト		Windows Sound System
LPTn+400h	8バイト		ECP port, LPTn base address+400h
OCF8-OCFB**	4バイト		PCI configuration address register
OCF9***	1バイト		Turbo and reset control register
OCFC-OCFF	4バイト		PCI configuration data register
FFA0-FFA7	8バイト		Primary bus master IDE registers
FFA8-FFAF	8バイト		Secondary us master IDE register

* BIOS 既定値。変更可能

** Doubled Word アクセスのみ可能

*** Byte アクセスのみ可能

5 割り込みレベル・DMAチャンネル

● 割り込みレベル

IRQ	Channel
0	interval timer
1	keyboard
2	Interrupt
3	COM2
4	COM1
5	LPT2/audio/User
6	Diskette drive controller
7	LPT1
8	Real time clock
9	User
10	User
11	User
12	Onboard mouse port
13	math coprocessor
14	Primary IDE
15	Secondary IDE

※ソフトウェアによって変更される場合があります。

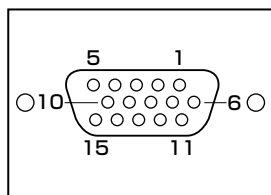
● DMA チャンネル

DMA	幅	Channel
0	8/16ビット	Audio
1	8/16ビット	Audio/Parallel Port
2	8/16ビット	Diskette drive
3	8/16ビット	Parallel Port (for ECPorEPP) /audio
4	-----	DMA controller
5	16ビット	User
6	16ビット	User
7	16ビット	User

② 各インタフェース

① アナログ RGB インタフェース

(注) I/Oは本装置から見た場合の入出力を示します。



ピン番号	信号名	意味	I/O
1	CRV	赤色ビデオ信号	O
2	CGV	緑色ビデオ信号	O
3	CBV	青色ビデオ信号	O
4	Unused	未使用	
5	GND	信号グランド	
6	GND	信号グランド	
7	GND	信号グランド	
8	GND	信号グランド	
9	+5V	電圧	
10	GND	信号グランド	
11	IDO	未使用	
12	DDCDAT	SDA通信信号	I/O
13	-CHSYNC	水平同期信号(TTL)	O
14	-CVSYNC	垂直同期信号(TTL)	O
15	DDCCLK	SCLデータクロック信号	I/O

② アナログ RGB インタフェースの同期信号

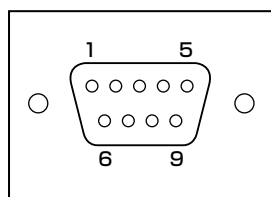
解像度 色数	640x480	800x600	1024x768	1280x1024	1600x1200
	垂直同期 (Hz)				
256	60-85	60-85	60-85	60-85	60-85
64k	60-85	60-85	60-85	60-85	—
16M	60-85	60-85	60-85	60-85	—

色数 256:256色、64k:65,536色、16M:1,677万色
ご使用になれる解像度、色数は、接続するディスプレイによって異なります。

詳細について ⇨ 『ディスプレイに付属の説明書』

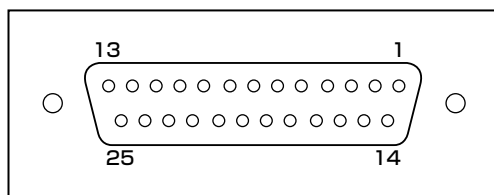
3 シリアルインタフェース

(注) I/Oは本装置から見た場合の入出力を示します。



ピン番号	信号名	意味	I/O
1	CD	受信キャリア検出	I
2	RXD	受信データ	I
3	TXD	送信データ	O
4	DTR	データ端末レディ	O
5	GND	信号グラウンド	
6	DSR	データセットレディ	I
7	RTS	送信要求	O
8	CTS	送信可	I
9	CI	被呼表示	I

4 パラレルインタフェース

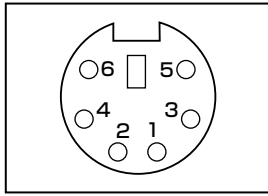


(注) I/Oは本装置から見た場合の入出力を示します。

ピン番号	信号名	意味	I/O
1	-STROBE	PD0～PD7のデータを書き込むための同期用出力信号	O
2～9	PD0～PD7	データの0ビット目から7ビット目の情報を送信する出力信号	O
10	-ACK	プリンタ内のBUSY状態が解除された直後に出る、プリンタ側からの要求パルス	I
11	BUSY	プリンタがデータ受信可能な状態であるかどうかを示すDCレベルの信号	I
12	PE	用紙切れの検出を知らせるDCレベルの信号	I
13	SELECT	プリンタのセレクト/ディセレクト状態を示すDCレベルの信号	I
14	-AUTFD	入出力信号	O
15	-ERROR	プリンタのエラー状態を示すDCレベルの信号	I
16	-PINIT	プリンタ制御部を初期状態にする出力信号	O
17	-SLIN	未使用	I/O
18～25	GND	信号グラウンド	

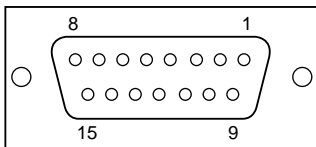
5 キーボード・マウスインタフェース

(注) I/Oは本装置から見た場合の入出力を示します。



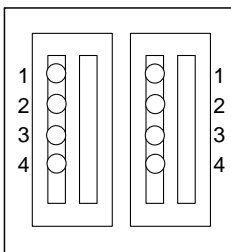
ピン番号	信号名	意味	I/O
1	DATA	データ	I/O
2	Unused	未使用	
3	GND	信号グランド	
4	+5V	+5V	
5	CLOCK	クロック	I/O
6	Unused	未使用	

6 MIDI/ ジョイスティックインタフェース



ピン番号	信号名	I/O
1	+5V	
2	Joy Stick But 0	I/O
3	Joy Stick x 1	I/O
4	GND	
5	GND	
6	Joy Stick Y 1	I/O
7	Joy Stick But 1	I/O
8	+5V	
9	+5V	
10	Joy Stick But 2	I/O
11	Joy Stick x 2	I/O
12	MIDI OUT	I/O
13	Joy Stick Y2	I/O
14	Joy Stick But 3	I/O
15	MIDI IN	I/O

7 USB インタフェース

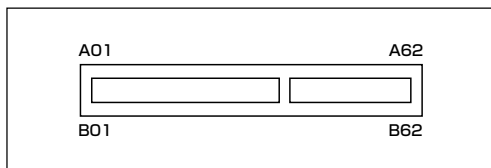


ピン番号	信号名	I/O
1	+5V	
2	-Data	I/O
3	+Data	I/O
4	GND	

8 拡張スロット

● PCIスロット

PCIタイプカード



(注) I/Oは本装置から見た場合の入出力を示します。

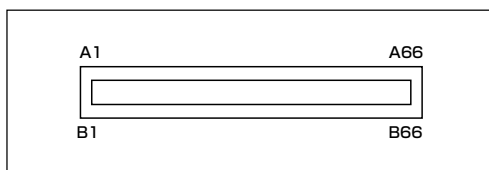
ピン番号	5Vシステム環境			
	サイドB	I/O	サイドA	I/O
1	-12V		TRST#	I
2	TCK	I	+12V	
3	GND		TMS	I
4	TDO	O	TDI	I
5	+5V		+5V	
6	+5V		INTA#	I/O
7	INTB#	I/O	INTC#	I/O
8	INTD#	I/O	+5V	
9	PRSNT1#	O	予約	
10	予約		+5V(I/O)	
11	PRSNT2#	O	+3.3V aux	
12	GND		GND	
13	GND		GND	
14	予約		予約	
15	GND		RST	I
16	CLK	I	+5V(I/O)	
17	GND		GNT#	I/O
18	REQ#	I/O	GND	
19	+5V(I/O)		PME#	
20	AD [31]	I/O	AD [30]	I/O
21	AD [29]	I/O	+3.3V	
22	GND		AD [28]	I/O
23	AD [27]	I/O	AD [26]	I/O
24	AD [25]	I/O	GND	
25	+3.3V		AD [24]	I/O

(注) I/Oは本装置から見た場合の入出力を示します。

ピン番号	5Vシステム環境			
	サイドB	I/O	サイドA	I/O
26	C/BE [3] #	I/O	IDSEL	I
27	AD [23]	I/O	+3.3V	
28	GND		AD [22]	I/O
29	AD [21]	I/O	AD [20]	I/O
30	AD [19]	I/O	GND	
31	+3.3V		AD [18]	I/O
32	AD [17]	I/O	AD [16]	I/O
33	C/BE [2] #	I/O	+3.3V	
34	GND		FRAME#	I/O
35	IRDY#	I/O	GND	
36	+3.3V		TRDY#	I/O
37	DEVSEL#	I/O	GND	
38	GND		STOP#	I/O
39	LOCK#	I/O	+3.3V	
40	PERR#	I/O	予約	I/O
41	+3.3V		予約	I/O
42	SERR#	I/O	GND	I/O
43	+3.3V		PAR	I/O
44	C/BE [1] #	I/O	AD [15]	
45	AD [14]	I/O	+3.3V	
46	GND		AD [13]	I/O
47	AD [12]	I/O	AD [11]	I/O
48	AD [10]	I/O	GND	
49	GND		AD [09]	I/O
50	コネクタ・キー			
51	コネクタ・キー			
52	AD [08]	I/O	C/BE [0] #	I/O
53	AD [07]	I/O	+3.3V	
54	+3.3V		AD [06]	I/O
55	AD [05]	I/O	AD [04]	I/O
56	AD [03]	I/O	GND	
57	GND		AD [02]	I/O
58	AD [01]	I/O	AD [00]	I/O
59	+5V(I/O)		+5V(I/O)	
60	ACK64C#	I/O	REQ64C#	I/O
61	+5V		+5V	
62	+5V		+5V	

● AGP スロット

AGPカード



AGP ユニバーサルコネクタ

(注) I/Oは本装置から見た場合の入出力を示します。

ピン番号	サイドB	I/O	サイドA	I/O
1			12V	
2	5.0V		TYPEDET#	I
3	5.0V		予約	
4				
5	GND		GND	
6	INTB#	I	INTA#	I
7	CLK	O	RST#	O
8	REQ#	I	GNT#	O
9	VCC3.3		VCC3.3	
10	ST0	O	ST1	O
11	ST2	O	予約	
12	RBF#	I	PIPE#	I
13	GND		GND	
14	予約		WBF#	I
15	SBA0	I	SBA1	I
16	VCC3.3		VCC3.3	
17	SBA2	I	SBA3	I
18	SB_STB	I	SB_STB#	I
19	GND		GND	
20	SBA4	I	SBA5	I
21	SBA6	I	SBA7	I
22	予約		予約	
23	GND		GND	
24	3.3Vaux		予約	
25	VCC3.3		VCC3.3	
26	AD31	I/O	AD30	I/O
27	AD29	I/O	AD28	I/O
28	VCC3.3		VCC3.3	
29	AD27	I/O	AD26	I/O
30	AD25	I/O	AD24	I/O

(注) I/Oは本装置から見た場合の入出力を示します。

ピン番号	サイドB	I/O	サイドA	I/O
31	GND		GND	
32	AD_STB1	I/O	AD_STB1#	I/O
33	AD23	I/O	C/BE3#	I/O
34	Vddq		Vddq	
35	AD21	I/O	AD22	I/O
36	AD19	I/O	AD20	I/O
37	GND		GND	
38	AD17	I/O	AD18	I/O
39	C/BE2#	I/O	AD16	I/O
40	Vddq		Vddq	
41	IRDY#	I/O	FRAME#	I/O
42	3.3Vaux		予約	
43	GND		GND	
44	予約		予約	
45	VCC3.3		VCC3.3	
46	DEVSEL#	I/O	TRDY#	I/O
47	Vddq		STOP#	I/O
48	PERR#	I/O	PME#	I
49	GND		GND	
50	SERR#	I/O	PAR	I/O
51	C/BE1#	I/O	AD15	I/O
52	Vddq		Vddq	
53	AD14	I/O	AD13	I/O
54	AD12	I/O	AD11	I/O
55	GND		GND	
56	AD10	I/O	AD9	I/O
57	AD8	I/O	C/BE0#	I/O
58	Vddq		Vddq	
59	AD_STB0	I/O	AD_ATB0#	I/O
60	AD7	I/O	AD6	I/O
61	GND		GND	
62	AD5	I/O	AD4	I/O
63	AD3	I/O	AD2	I/O
64	Vddq		Addq	
65	AD1	I/O	AD0	I/O
66	Vrefcg		Vrefgc	

拡張スロットの電流容量

拡張スロット全体（オプションカード、5型ドライブのすべてを含む）で使用可能な電流容量は次のとおりです。

拡張スロットの取り付けの際は、次の制限を必ず守ってください。

● 拡張スロットの許容電流値

電流容量	拡張スロットの合計
+5V	8A以下
+12V	2A以下
-12V	0.3A以下
+3.3V	8A以下

3 その他の設定

1 CD-R/RW モデル

CD-R/RW モデルで、CD-R/RW に書き込みを行うためには、専用のソフトウェアが必要です。

書き込みを行うためのソフトウェアとして、Adaptec 社製「DirectCD」「Easy CD Creator」をご用意しています。

次の手順に従って、インストールを行なってください。

また、実際に CD-R/RW に書き込みを行うときは、「1 章 4-3- CD-R/CD-RW に書き込む」の注意事項をお読みください。

● インストール方法

- 1 「Easy CD Creator」CD-ROM を CD-R/RW ドライブにセットする
CD-ROM をセットすると、自動的にインストール画面が表示されます。
- 2 画面の指示に従って「DirectCD」または「Easy CD Creator」をインストールする
- 3 再起動する

